



日本精神保健看護学会 第35回学術集会・総会

こころのケアのユニバーサル化と安心の考究

2025年5月31日[土]～6月1日[日]

会場 金沢歌劇座 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

会長 田中 浩二 (金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授)

副会長 堤 敦朗 (金沢大学融合研究域融合科学系 教授)

プログラム集





安心して対応できる環境が、 質の高いケアを生む。

GAF評価から精神科独自の記録も簡単。

さらに、必要な情報はすぐに共有され、管理者や他のスタッフも状況を把握しやすくなります。そのため、経験の少ないスタッフでも、1人で対応する際の心理的安全性が高まり、安心してサービスを提供できます。



精神科訪問看護の現場を支える、iBow^{アイボウ}

AI活用で訪問看護業務を最適化！

経営効率化と収益向上を支援するクラウド型電子カルテiBow

「ひとを幸せにする」を理念に、全国5万4千人以上の看護師に選ばれているiBowは、生成AIなどの活用で、訪問看護業務全般を効率化し、時間を創出するクラウド型電子カルテです。業務の効率向上により収益の増加も期待できます。さらに看護記録書Ⅱ等のデータの活用により、訪問件数や各スタッフの訪問状況を可視化し、業務の最適化と経営判断を支援。iBowは政府の「3省2ガイドライン」や国際基準のセキュリティ基準に準拠し、高度な安全性を確保しています。そのため、訪問先でも安全に必要な情報をリアルタイムで取得でき、安心して業務を行えます。



ココが便利！

精神科訪問看護に役立つ！iBowの3つの機能



スケール表いらず！ GAF評価をスムーズに記録

GAF評価の入力時に、スコアの説明も一緒に表示されるので、その場で確認OK。スケール表を持ち歩く手間がなく、未入力チェック機能で記録ミスも防げます。

連絡事項をまとめて管理！ 情報共有が簡単に

急な連絡や家族からの問い合わせも、iBowで一元管理。チーム全員にすぐ共有でき、履歴も残るので見落としの心配なし！

精神科に合わせた記録を！ 必要な項目をカスタマイズ

項目をカスタマイズできるので、各ステーション様が大切にする「言語」を全員で日常的に使え、「適切な言語化」をスタッフ様に根付かせやすくなります。

お電話でのお問合せはこちら

 **0120-49-0333**

受付時間9～22時（平日18時以降と土日祝は用件受付のみ）

WEBからのお問合せはこちら

 訪問看護 iBow
<https://ewellibow.jp/>

簡単
1分



株式会社eWeLL 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪御堂筋ビル 13F



一般社団法人
日本精神保健看護学会
Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing

日本精神保健看護学会 第35回学術集会・総会

こころのケアのユニバーサル化と安心の考究

会 場 2025年 **5月31日** (土) ~ **6月1日** (日)

オンデマンド配信

2025年 **6月11日** (水) ~ **6月30日** (月)

会 場 **金沢歌劇座**

会 長 **田中 浩二**

金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授

副会長 **堤 敦朗**

WHO西太平洋地域事務局

金沢大学融合研究域融合科学系 教授

後 援 認定特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

(認定NPO法人地域精神保健福祉機構)

公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会

公益社団法人 石川県看護協会

一般社団法人 日本看護系学会協議会

公益社団法人 日本精神保健福祉士協会

石川県

金沢市 (市民公開講座)

北國新聞社

日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会の開催にあたって

日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会

会長 田中 浩二

(金沢大学医薬保健研究域保健学系)

このたび、日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会を「こころのケアのユニバーサル化と安心の考究」をテーマに、2025年5月31日(土)・6月1日(日)の両日にわたって石川県金沢市で開催させていただくことになりました。

日本精神保健看護学会は、精神保健看護に関する学術団体として国内最大規模の学会で、学術の発展ならびに人々のメンタルヘルスへの貢献を目的としております。学術集会では、例年全国の臨床やコミュニティの最前線で活躍されている看護職や保健福祉職、精神保健看護学関連の教育・研究者を中心に1,000名以上の方が参加されています。

1995年に阪神・淡路大震災が発生してから、日本でも心的外傷後ストレスとこころのケアが着目されるようになってきました。その後も、東日本大震災や熊本地震、豪雨災害、火山災害などの自然災害や事件・事故が繰り返し発生しています。石川県能登地区では、2007年の震災後ようやく安心が取り戻されてきた中で、2024年1月、再び甚大な被害を受けています。世界的には、感染症のパンデミック、人道災害の発生、温室効果ガス問題、貧困と食糧難などによって、人類は安全と安心が脅かされた不確かな時代に生きることを余儀なくされています。

このように日常性が失われた状況の中で、安心や平和の真価が再認識され、意味が問われてきたように思えます。誰もが心的外傷をもちうる中で、すべての人がこころのケアを通して安心を実感できる社会が必要とされています。また、同時にトラウマから回復する力やメンタルヘルスリテラシーが着目されるようになってきました。2020年以降、学校でメンタルヘルスリテラシー教育が始まっており、日本においても社会全体でメンタルヘルスへの関心が高まっています。メンタルヘルスリテラシーは、保健・医療・福祉機関のみならず、コミュニティ・学校・産業など人間が生きるあらゆる状況で必要とされ、浸透しつつあります。グローバル化、情報・テクノロジーの飛躍的な進歩、日本学術会議によるケアサイエンスの推進の中で、専門職のみならず市民や行政・産業・異分野の科学者たちが立場や民族・制度などの垣根を越えて協働することが求められています。メンタルヘルスリテラシーの向上が、時間と空間を超えて様々な人や場をつなぎ、こころのケアのユニバーサル化と人々の安心に貢献すると信じています。

金沢市は、加賀藩前田家の城下町として発展し、伝統工芸や芸能が引き継がれてきた一方で、21世紀美術館や海みらい図書館など新しい文化も存在し、世界からユネスコ創造都市として認定されています。地域の伝統と世界に開かれた金沢のまちで、こころのケアのユニバーサル化と安心を考究し、ケアマインドの活性化と共生社会の実現に向けて考える機会にしたいと考えております。

ぜひ多くの皆様にご参加いただき、様々な交流とディスカッションができますと幸いです。ご参加を楽しみにお待ちしております。

目次

学術集会会長挨拶

日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会のご案内	1
座長・演者へのご案内	5
会場案内／交通案内	10
会場配置図	11
日程表	14
プログラム	
メインプログラム	18
ワークショップ	23
一般演題 口演	32
一般演題 示説（ポスターセッション）	37
日本精神保健看護学会学術集会 企画一覧	42
一般社団法人日本精神保健看護学会 第6期役員	45
一般社団法人日本精神保健看護学会 第4期代議員	46
日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会 企画委員・実行委員・事務局	47
協賛企業・団体一覧	49

日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会のご案内

1. 参加受付について

1) 受付時間・場所

日付	受付時間	受付場所
5月31日(土)	8:00~17:00	1F ロビー
6月1日(日)	8:00~16:00	

2) 受付方法

種別	当日の受付
前期参加登録をされた方	前期参加登録でお支払いが完了した方に自動送信される内容確認メールにてネームプレート・領収書がダウンロード可能となります。また、参加証明書は学術集会終了後にダウンロードが可能となります。 ネームプレートをダウンロードいただき、受付記名台に設置のネームカードホルダーに入れ、会期中ご提示ください。受付へのお立ち寄り是不要です。
後期参加登録をされた方	後期参加登録でお支払いが完了した方に自動送信される内容確認メールにてネームプレート・領収書がダウンロード可能となります。また、参加証明書は学術集会終了後にダウンロードが可能となります。 ネームプレートをダウンロードいただき、受付記名台に設置のネームカードホルダーに入れ、会期中ご提示ください。事前参加受付にて、「プログラム集」をお渡しいたします。
当日受付をされる方	記名台に設置する「参加登録申込書」にご記入いただき、当日受付にて以下の参加費をお支払いください。 【当日受付 参加費】 ・会 員：12,000円 ・非 会 員：12,000円 ・学 生※：3,000円 ・当事者・家族：1,000円 ※「学生」とは看護基礎教育課程に在籍中の方です。 大学院生等の方は、会員または非会員のいずれかでお申込みください。

- ・学会参加認定書は、参加証明書をもってかえさせていただきます。
- ・病院寄付特典でご参加の場合は別にお送りしている案内を参照してください。

3) 懇親会について

日付	開催時間	参加費	開催場所
5月31日(土)	18:50~20:50	6,000円	金沢21世紀美術館内Fusion21

- ・懇親会については、事前参加登録よりお申込ください。当日空きがある場合のみ、当日受付にて、受付いたします。

2. クロークの利用について

- ・クローク（会議棟 1 階楽屋ホール入口）にて手荷物をお預かりいたします。お荷物は出来る限りまとめていただきますようご協力をお願いいたします。なお、貴重品、パソコン、傘、壊れもの、食品類はお預かりできません。
- ・保管の責任は主催者では負いかねますので、あらかじめご了承ください。

クローク場所	5月31日(土)	6月1日(日)
会議棟 1 階楽屋ホール入口	8:00~18:45	8:00~17:00

3. ワークショップについて（事前申込み）

- ・ワークショップは事前申込みとなります。満席に達していないワークショップは当日に直接会場へお越しいただき、空席があれば参加が可能です。初日にホール棟 1 Fロビーにおいて残数を掲示します。
- ・ワークショップ会場受付にて、お送りしておりますワークショップ参加登録確認メールをご提示ください。事前申込みをされた方はお手持ちのスマホ等でご提示いただければ、印刷の必要はございません。
- ・開催時刻前になりましたら、各ワークショップ会場にお越しく下さい。
- ・なお、開始時間から 5 分を過ぎてもご来場されない場合は、キャンセルとみなされますことをご了承ください。

4. ランチョンセミナー・お弁当について（事前申込み）

- ・本大会におけるランチョンセミナーのお弁当については事前申込みが可能です。
 - ※事前申込み締切後にお弁当の残数がある場合は、当日ランチョンセミナー受付にてチケット配布を行います。
 - ※ランチョンセミナーのお弁当申込は先着順とし、各セッション数量に達し次第終了します。
 - ※ランチョンセミナーご参加につきましては、事前申込が定員に達した場合でも、当日お席に余裕があれば聴講いただけます。

5/31(土) 12:10~13:10 第1会場 能登半島被災地支援講演

- ・(被災地からのご協力：株式会社れん らいず訪問看護ステーション) のお弁当については事前申込みでお弁当を販売いたします。※数に限りがございます。200食（予定）
 - ※第1会場（ホール）は主催者が準備したお弁当以外の飲食ができない関係上、別途注文サイトよりお申し込みくださいますようお願いいたします。
- お弁当代800円（税込）
事前申込み締切：2025年5月20日(火) 正午

チケット配布場所	5月31日(土)	6月1日(日)
会議棟 1 階ロビー	8:00~12:00	8:00~12:00

5. 飲食について

- 会場付近には昼食をとれるお店の数が少ないので、お弁当等を持ち込んで休憩コーナーなどで飲食いただいてもかまいません。但し、第1会場は主催者が準備する飲食物のみ可能ですが持ち込み弁当は不可となります。
- 会場内で飲食をされる際に出るごみは、必ずお持ち帰りください。

6. 学会総会について

- 5月31日(土) 17:30～18:30、第1会場（ホール）にて学会総会を行います。
- 会員の方はご出席ください。

7. 会場内でのお願い

- 会場内ではネームプレートの着用をお願いいたします。
- 敷地内は禁煙です。
- 講演・発表等のビデオ・写真撮影（カメラ付携帯電話を含む）・録音はご遠慮ください。
- 携帯電話は電源をお切りになるか、マナーモードでご使用いただき、発表会場内での通話はご遠慮ください。
- 学術集会で使用していない部屋には立ち入らないでください。また、話し声などが他の利用者の迷惑とならないようにご注意ください。
- 無断でのチラシの配布や壁、扉への貼紙はご遠慮ください。ポスターなどの掲示やチラシ等の配布を希望される方は1階の総合受付までお願いいたします。

8. 企業展示・書籍展示について

- 企業展示・書籍展示はホール1階ロビーにて行います。ぜひお立ち寄りください。

9. 報道関係者の方へ

- 受付でお名刺をお出しください。主催者へ確認後、参加証をお渡しいたします。なお、特定の個人への取材、写真撮影はご遠慮いただいております。

10. アンケート協力をお願い

- 以下にアンケートフォームを設置しております。
- 右記のQRコードからもアクセス可能で、スマートフォン等からもご回答いただけます。
- ぜひ本学術集会へのご意見、ご感想をお寄せください。

○日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会アンケートフォーム

<https://forms.office.com/r/LMG9w7rQDe>



11. オンデマンド配信・抄録集 (PDF)

オンデマンド配信期間：6月11日(水)～6月30日(月)

- 第35回学術集会・総会のWEBサイト上にオンデマンド配信視聴サイトのボタンが追加されます。当日行われました指定講演、シンポジウムの録画をご視聴いただくことができます。(一般演題発表、ワークショップのオンデマンド配信はございません)
- 配信サイト内に該当する電子データ (PDF) 抄録集を掲載いたします。
- 参加登録をされていない方へのパスワードの漏洩は固く禁じます。

12. その他

- 会場内の呼び出しは行いません。1 階の受付エリア内に設置される掲示板をご活用ください。
- ご気分が悪くなられた場合は、お近くのスタッフ又は 1 階の受付へお申し出ください。
- 落とし物、お忘れ物等は 1 階の受付でお預かりいたします。

13. 地震・災害などの緊急時

- 災害発生時は、スタッフの誘導・誘導表示又はアナウンスに従って、落ち着いて避難してください。その際は、エレベーターは使用せず、階段をご利用ください。

14. 日本精神保健看護学会からのお知らせ

1) 入会のご案内

ホームページ (<http://www.japmhn.jp/>) にて公開しております。

郵送先：〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル

(株) 毎日学術フォーラム内 (一社) 日本精神保健看護学会事務局

2) 広報のための撮影について

学会の広報活動の一環として、学術集会の様子を撮影する場合がございますことをご了承ください。

撮影されないことをご希望される場合は、撮影係またはスタッフへお申し出ください。

座長・演者へのご案内

各講演・シンポジウムの演者の方へ

- 各セッションの進行は、座長の方にお任せいたします。座長の進行に応じて終了するようご協力をお願いいたします。
- 講演中のPC画面操作は、演者ご自身による手元操作になります。
- 会長講演、教育講演、市民公開講座、理事会企画、各シンポジウムの演者の方は、金沢歌劇座ホール棟1階「座長・演者受付」に各プログラムの開始1時間前までにお越しください。
- 演者の方は、受付が済みましたら各プログラムの開始30分前までに会議棟1階PC受付にて発表データの登録をお済ませください。
- 発表データはUSBメモリーに保存してご持参ください。（オンラインストレージ経由でのダウンロードはいたしかねます）

データの作成・保存

- 事務局では、Windows PCをご用意します。Macintoshの方はPCをお持ち込み下さい。
アプリケーションはPower point 2019を用意しております。
フォントはOS標準のものを作成してください。
- スライドは16：9の比率が推奨です。
- 作成されたファイル名は「セッション名_演者名（例：シンポジウム1_発表太郎）」としてください。
- メディアを介したウィルス感染の事例がありますので、最新のウィルス駆除ソフトでチェックしてください。
- 発表会場ではデータの修正はできませんので予めご了承ください。
- 利益相反の開示をしていただきます。1枚目に演題名・氏名・所属の表記、2枚目にCOIの表記を行ってください。今回発表する研究に関して企業等から助成金をもらっている場合は必ず開示してください。特になければ、「発表に関する開示すべきCOIは特にありません」と明示してください。

各講演・シンポジウムの座長の方へ

- 各セッションの進行は、座長の方にお任せいたします。詳細は必要に応じて演者とお打ち合わせの上、時間内に終了するよう進行をお願いいたします。
- 会長講演、教育講演、市民公開講座、理事会企画、各シンポジウムの座長の方は、金沢歌劇座ホール棟1階「座長・演者受付」に各プログラムの開始1時間前までにお越しください。

一般演題（口演）の演者の方へ

- 発表は、1 演題15分（口演10分、質疑応答 5 分）です。
- 演者は座長の進行指示にしたがってください。
- 演者はセッション開始30分前までに会議棟 1 階PC受付にて発表データの登録をお済ませください。
- 発表データはUSBメモリーに保存してご持参ください。
（オンラインストレージ経由でダウンロードはいたしかねます）
- ご自身のPCを持ち込んでの発表は頂けません。
- 発表中のPC画面操作は、演者ご自身による手元操作になります。
- 計時回線のランプが、口演終了 1 分前に、黄色、口演終了時に赤色に点灯いたします。
- 会場での資料配布はできません。
- PC受付での発表データ登録時間は、5 月31日(土)8：00～17：30、6 月 1 日(日)8：00～15：00です。
- 登録したデータは、本学術集会終了後に学術集会責任のもと消去いたします。

データの作成・保存

- 事務局では、Windows PCをご用意します。アプリケーションはPower point 2019を用意しております。
フォントはOS標準のものを作成してください。
- Macintoshのアプリケーション（Keynote）はご利用頂けません。Mac版Power pointの利用は可能ですが、Windows版でデータを表示する際、レイアウト崩れが発生する場合がありますので、事前にWindows版PCでデータの確認をお願いいたします。
- 作成されたファイル名は「演題番号_演者名（例：100_発表太郎）」としてください。
- メディアを介したウィルス感染の事例がありますので、最新のウィルス駆除ソフトでチェックしてください。
- 発表データ作成後、作成したPC以外のPCで正常に動作するかチェックしてください。
- 利益相反の開示をしていただきます。1 枚目に演題名・氏名・所属の表記、2 枚目にCOIの表記を行ってください。今回発表する研究に関して企業等から助成金をもらっている場合は必ず開示してください。特になければ、「発表に関する開示すべきCOIは特にありません」と明示してください。

一般演題（ポスター）の演者の方へ

●当日のポスター発表

当日のポスター発表者は、ご自身の演題番号をご確認いただき、同じ番号のパネルにご自身にて貼付をお願いいたします。発表方式は座長・演者・参加者にてポスター前で発表・質疑応答を行う従来のポスター発表形式ではなく、指定時間にご自身のポスター前で待機し、ポスターパネルを訪問された参加者と質疑応答や意見交換をお願いいたします。

●ポスター会場

金沢歌劇座ホール棟 2 階席（3F）ロビー

●ポスター掲示時間・発表（ポスターセッション）時間・撤去時間

■掲示時間 掲示時間内に、発表者ご自身にてご掲示ください。

5月31日（土） 8：30～12：00

■発表時間 ご自身のポスター前に待機してください。

5月31日（土） 15：10～16：10

■撤去時間

6月1日（日） 15：00～17：00

ポスター掲示用の画鋏は、事務局で準備致します。

撤去時間内に撤去されていないポスターは、事務局で処分いたします。

処分ご希望の方も必ずポスターを各自パネルから外し、「廃棄」と記載のうえ、付近の床にまとめておいてください。

●ポスターパネルサイズ

ポスターパネルのサイズは、縦210cm×横120cmです。

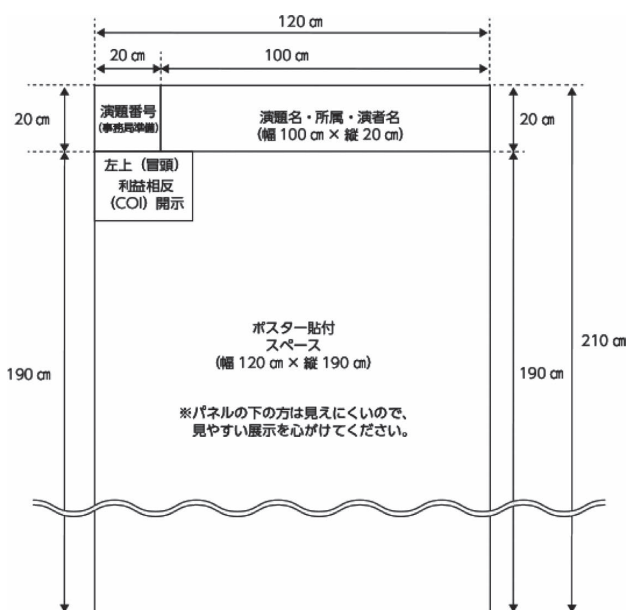
演題番号は、運営事務局で用意します。

演題名・所属・演者名は下図のスペース内に記載してください。

貼付スペース：縦190cm×横120cmに収まるようにしてください。

なお、パネルの下の方は見えにくいので、見やすい展示を心がけてください。

利益相反の開示をしていただきます。左上（冒頭）にCOIの表記を行ってください。今回発表する研究に関して企業等から助成金をもらっている場合は必ず開示してください。特になければ、「発表に関する開示すべきCOIは特にありません」と明示してください。



一般演題（口演）座長の方へ

- 発表は、1 演題15分（口演10分、質疑応答 5 分）です。
- 金沢歌劇座ホール棟 1 階「座長・演者受付」に各プログラムの開始 1 時間前までにお越しください。
- セッション開始のアナウンスは特にございませんので、定刻になりましたら、セッションを開始してください。

ワークショップ主催者の方へ

- ワークショップ（以下、WS）は自主運営で行なっていただきます。下記内容をご確認いただき、参加者の皆様とともに有意義な時間をお過ごしくくださいますようお願いを申し上げます。

〈受付について〉

- WS代表者および共同企画者の受付はございません。直接会場にお越しください。

〈事前参加受付について〉

- すべてのWSは事前参加申込を受け付けます。
- 3 日前に「WS事前参加受付名簿」をWS代表者の方にメールでお届けいたします。
- WS事前参加申込をされた参加者には、登録時に自動返信メールにてWS参加登録確認メールが送られます。各会場にいられた先生方は、お送りしておりますWS参加登録確認メールをお手持ちのスマホ等でご提示いただくようご案内しております。

〈当日参加について〉

- WSは事前申込みが必要です。定員に満たないWSについては、参加希望者は会場に行き、代表者または共同企画者と直接交渉していただく案内となっておりますので、各会場でのご対応を宜しく願います。

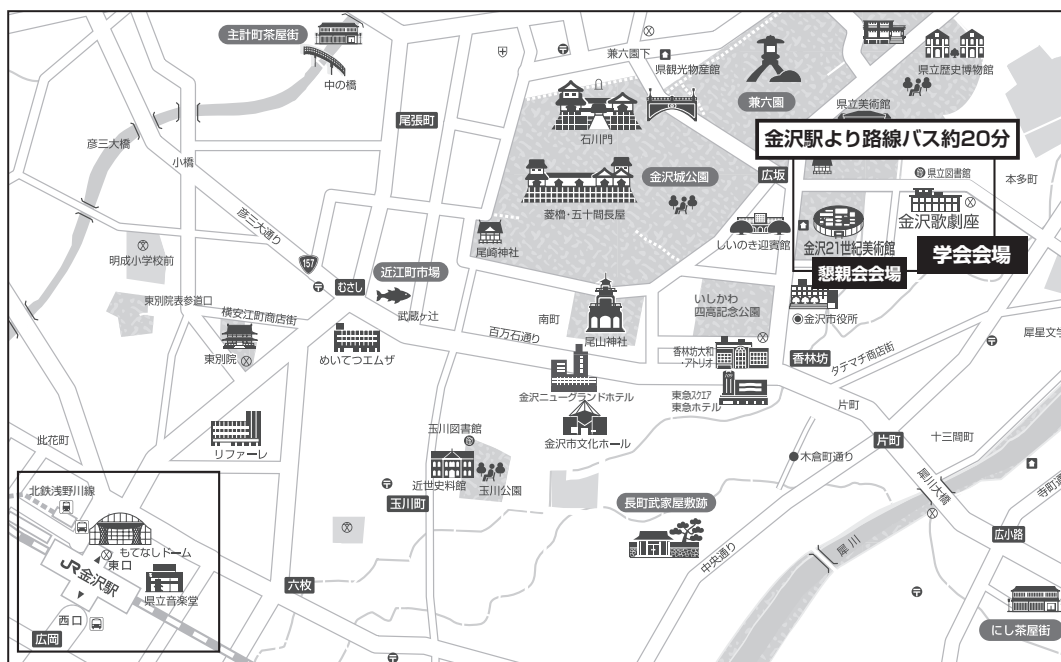
〈会場について〉

- 開始時間の10分前に開場いたします。
- 各会場の椅子や机は可動式です。自由に配置をご調整いただくことができますが、退室時には原状復帰の徹底とゴミなどを残さないようにご協力ください。
- 開始時間および終了時間の遵守にもご協力をお願いいたします（終了時間とは、原状復帰に要する時間も含まれます）。
- 参加者への資料の配布は自由ですが、終了時には残部をお持ち帰りください。なお、会場で資料を印刷いただくことはできませんので、配布資料をご持参ください。
- 各会場には備え付けのプロジェクター1台、スクリーン、マイク（有線1本、ワイヤレス1本）を用意しておりますが、その他の必要な資材・機材は各自でご準備ください。PC持ち込みの場合、ケーブルをご持参ください。接続端子はHDMIとなります。音声のないスライド等であれば、VGA（15pin）でも接続可能です。

〈オンデマンド配信について〉

今回、WSのオンデマンド配信はございません。

会場案内／交通案内



東京 → 金沢

- 【新幹線で】・東京 — 金沢「かがやき」利用 約 2 時間 30 分
- ・東京 — 金沢「はくたか」利用 約 3 時間
- 【飛行機で】・羽田 — 小松 約 1 時間

大阪 → 金沢

- 【JR で】・サンダーバード + 新幹線利用 約 2 時間 30 分

名古屋 → 金沢

- 【JR で】・しらすぎ + 新幹線利用 約 2 時間 45 分

小松空港 → 金沢駅

- 【空港バスで】
 - ・金沢駅行 約 45 分 金沢駅金沢港口（西口）到着
- 【タクシーで】
 - ・高速道路利用 約 40 分、14,000 円前後です。

札幌 → 金沢

- 【飛行機で】・札幌 — 小松 約 1 時間 40 分

仙台 → 金沢

- 【新幹線で】・東北新幹線（大宮乗り換え）利用 約 3 時間 45 分
- 【飛行機で】・仙台 — 小松 約 1 時間 10 分

福岡 → 金沢

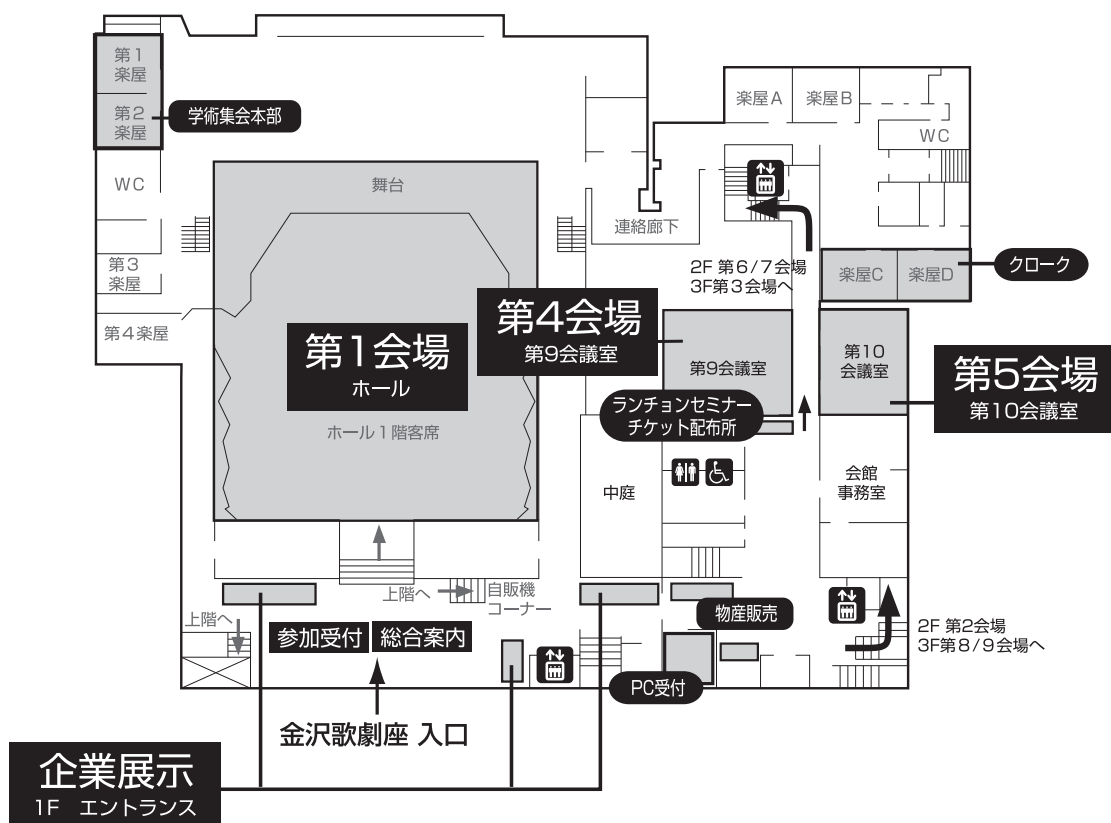
- 【飛行機で】・福岡 — 小松 約 1 時間 30 分

JR 金沢駅から会場までのアクセス

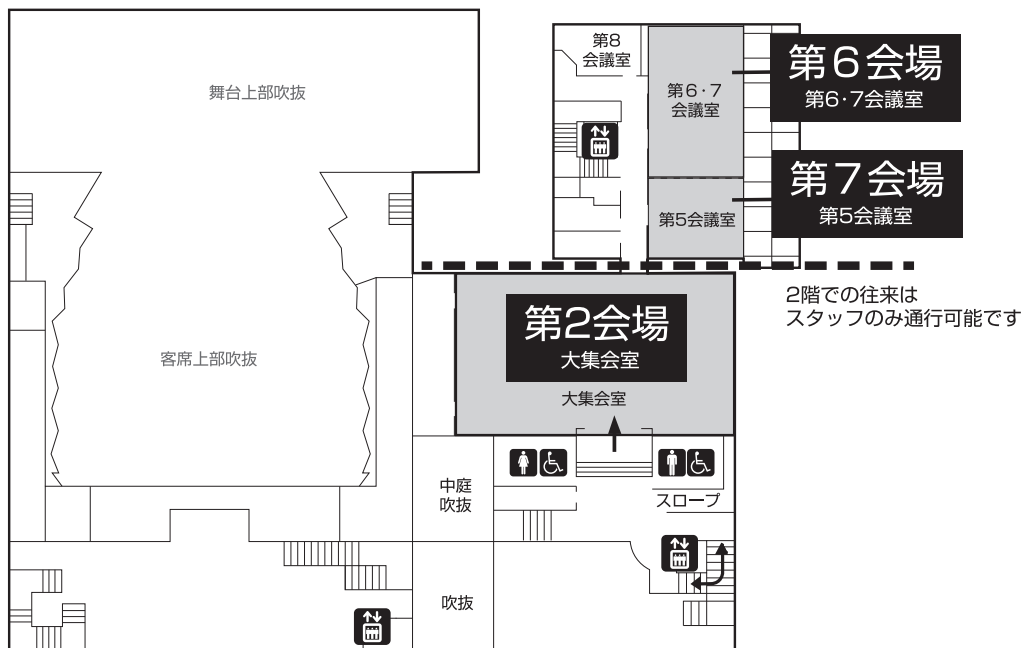
- 【市内路線バスで】
 - ・北陸鉄道バス 金沢駅東口バス 3 番のりばより「東部車庫」「金沢学院大学」行きに乗車、本多町にて下車（乗車時間 約 20 分）
- 【タクシーで】
 - ・JR 金沢駅前から約 10 分。

会場配置図

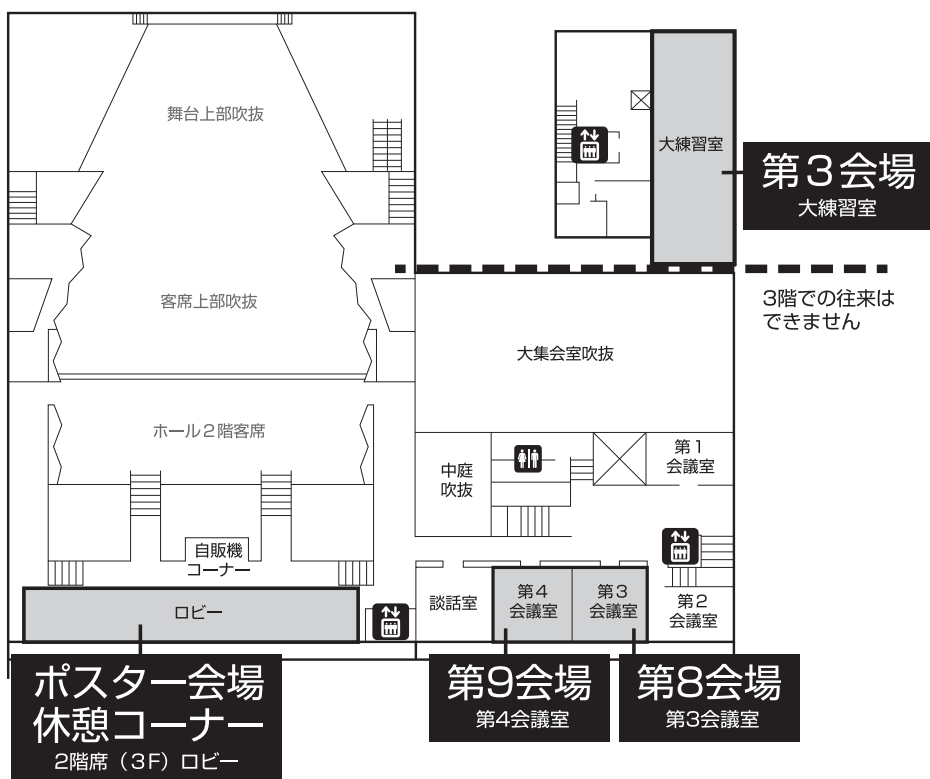
金沢歌劇座 1F



金沢歌劇座 2F



金沢歌劇座 3F



1日目 5月31日(土) 日程表

★・・・オンデマンド配信あり(5月2日現在) 配信期間 6月11日(水)～30日(月)

	第1会場 ホール	第2会場 2F大会室	第3会場 3F大練習室	第4会場 1F第9会議室	第5会場 1F第10会議室
8:00					
9:00	9:00～9:10 開会式 9:10～10:20 ★ 会長講演 「こころのケアのユニバーサル化と安心の考究」 座長：長谷川雅美 演者：田中浩二				
10:00					
11:00	10:30～12:00 ★ 教育講演1 「途上国における精神保健支援の新たな潮流と人道災害への対応」 座長：菅間真美 演者：堤 敦朗	10:30～12:00 ★ シンポジウム1 「居場所をつくるケア」 座長：長谷川雅美、松本賢哉	10:30～11:45 一般演題 口演第1群 「地域・災害精神保健」	10:30～12:00 WS-01 「精神科医療現場における不適切なケアについて検討し予防しよう！」	10:30～12:00 WS-02 「被災・喪失体験をした子どもへの支援について～地域で寄り添い、支えあうために、私たちができること～」
12:00					
13:00	12:10～13:10 ★ 能登半島被災地支援講演 「メディスンとアートの融合研究」 座長：宮本満寛 演者：菊知 充 協力：株式会社れん らいず訪問看護ステーション	12:10～13:50 ランチョンセミナー1 (共催シンポジウム) 「身体抑制に頼らない看護がもたらす安心～チャレンジを続けることで得たものと見えてきた課題～」 共催：ニブロ株式会社			
14:00	13:20～14:50 ★ 市民公開講座 「こころの傷を癒すということ」 座長：田中浩二 演者：安 成洋、安達もじり、田中 究	14:00～15:30 ★ 教育講演2 「『素直でまじめでいい子』でも『失敗することが怖い』～いい子症候群の若者たちと共に前へ進むために～」 座長：澤田いずみ 演者：金間大介	13:20～14:50 一般演題 口演第2群 「精神疾患をもつ人への看護」	13:20～14:50 WS-06 「第3回インクルーシブCafe 精神科医療に連続と続く虐待の歴史を変えるー改正精神保健福祉法に関するエコマップ作製を通して考えるー」	13:20～14:50 WS-07 「臨床行動分析を用いたリカバリー支援と看護への応用」
15:00	15:00～17:15 ★				
16:00	国際交流講演 座長：田中浩二、千葉理恵 演者：Karen Lascelles、Toby Raeburn	15:40～17:10 ★ 教育講演3 「『生きる』を支える被災地での長期メンタルヘルス支援を通して相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会」 座長：福田紀子 演者：大川貴子	15:10～16:40 一般演題 口演第3群 「精神看護における多様な支援の検討」	15:10～16:40 WS-12 「臨床・教育の現場で倫理を語ると何が起きるのか～体験談を共有しませんか～」	15:10～16:40 WS-13 「パーソナルリカバリー×ソーシャルフットボール！ー当事者が熱中する活動について理解を深め、語り合おうー」
17:00					
18:00	17:30～18:30 学会総会				
19:00	18:50～	懇親会(Fusion21)			

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	ポスター会場	企業展示
2F第6・7会議室	2F第5会議室	3F第3会議室	3F第4会議室	3Fロビー	3Fロビー
				8:30～12:00	8:30～17:00
				ポスター掲示	
10:30～12:00	10:30～12:00	10:30～12:00			
WS-03 「うつ病の看護を深めま しょう！～「日本うつ病 学会うつ病看護ガイド ライン」の活用方法と事 例検討～」	WS-04 「リカバリーの視点で考 える看護学生を育成す るには？演習・実習での Wellness Recovery Action Plan (WRAP) の 活用事例について」	WS-05 「精神科病棟におけるス トレngthスしこうに向 けた事例検討会・・・笑 抱の会@JAPMHN35」			
					企業展示
13:20～14:50	13:20～14:50	13:20～14:50	13:20～14:50		
WS-08 「精神科医療における開 かれた会話ーリフレク ティング・プロセスの 試みー」	WS-09 「児童思春期精神科にお ける日課や行事を 通じたケア」	WS-10 「精神科看護における対 人関係論の伝承～宮本 真巳先生と語ろう～」	WS-11 「自傷をくりかえす患者 のこころのケアを 考える事例検討」		
15:10～16:40	15:10～16:40	15:10～16:40	15:10～16:40	15:10～16:10	
WS-14 「哲学対話：精神保健看護 の立場から闇バイトの背 景にある問題を語ろう！ ーアディクションの視点 からー」	WS-15 「精神科訪問看護のよい 実践とは？ 訪問看護の強みを皆で 考えよう」	WS-16 「発達障害のある子ども と家族への包括的支援 ートラウマインフォーム ドケアと対話を通じた新 たな支援の可能性ー」	WS-17 「精神科看護師のための マインドフルネスと コンパッション」	ポスター発表	
18:50～					
懇親会 (Fusion21)					

2日目 6月1日(日) 日程表

★…オンデマンド配信あり(5月2日現在) 配信期間 6月11日(水)～30日(月)

	第1会場 ホール	第2会場 2F大会室	第3会場 3F大練習室	第4会場 1F第9会議室	第5会場 1F第10会議室
8:00					
9:00	8:50～10:20 ★ 教育講演4 「メンタルヘルス教育の 社会実装化」 座長：寺岡征太郎 演者：安保 寛明	8:50～10:20 ★ シンポジウム2 「実践に生かすための質 的研究を目指して」 座長：畦地博子、長山 豊	8:50～10:20 災害対策委員会企画 ワークショップ 「災害に備えて平時から の備えを共に考え ましょう」 “Psychological・Zero・ Aid”のご紹介	8:50～10:20 WS-18 「現場で活用！リフレク ティング体験ワーク ショップ」	8:50～10:20 WS-19 「精神保健看護学の実 践・教育現場で活用でき る「渡辺式家族アセスメ ント／支援モデル」」
10:00					
11:00	10:30～12:00 ★ 教育講演5 「死と向き合う患者のこ ころのケア—4000人と 対話した精神科医の 経験から—」 座長：野末聖香 演者：清水 研	10:30～12:00 ★ 教育講演6 「ポジティブ心理学の研 究での活用」 座長：宮本有紀 演者：千葉理恵	10:30～11:45 一般演題 口演第4群 「倫理的課題・悩み・ 葛藤への対応」	10:30～12:00 WS-23 「当事者のストレングス と情熱が実る農福連 携！！当事者の力を活 かす福祉サービス事業 所と地域との協働を紹 介します！」	10:30～12:00 WS-24 「精神看護学実習におけ る臨床指導者と教員の 協同のかたち～普遍的 な共通理解の新たな構 築を目指して～」
12:00					
13:00	12:10～13:10 ランチョンセミナー2 「多職種支援でロナセンテ ーブをどう活かすか -患者に 寄り添った治療の実践-」 共催：住友ファーマ株式会社	12:10～13:10 ★ ランチョンセミナー3 「YouTube発！メンタルヘルスリ テラシーの新たな広がり～登録者 数64万人の益田先生の視点から～」 共催：トキノ株式会社			
14:00	13:20～14:50 ★ 理事会企画シンポジウム 「健康危機の現場で支援 活動を行う支援者への メンタルヘルス支援」 座長：菅間真美、 寺岡征太郎		13:20～14:50 一般演題 口演第5群 「看護教育、看護師の 体験・経験」	13:20～14:50 WS-28 「実習期の看護学生にお ける睡眠問題の改善に 向けて：多様な背景要因 の理解と現場での具体 的支援」	13:20～14:50 WS-29 「精神障害を持つ妊産婦 と家族への看護ケアと 多職種・多機関連携に よる支援」
15:00	15:00～16:30 ★ シンポジウム3 「能登半島地震被災者の ケア」 座長：北岡和代、 山岡由実	15:00～16:30 日本精神科看護協会合 同企画シンポジウム 「専門性の高い看護師が 外来で行う看護実践」 座長：畠山卓也、 草地仁史	15:00～16:30 一般演題 口演第6群 「自殺予防、尺度開発、 児童精神保健」	15:10～16:40 WS-33 「自分を知ることを通し て考えるセルフマネジ メントのあり方ーメン タルヘルスリテラシー の視点を活用してー」	15:10～16:40 WS-34 「みんなで語ろう！「精 神保健看護領域におけ る高度実践看護って 何だろう」」
16:00	16:40～16:50 閉会式				
17:00					
18:00					
19:00					

第6会場 2F第6・7会議室	第7会場 2F第5会議室	第8会場 3F第3会議室	ポスター会場 3Fロビー	企業展示 3Fロビー
8:50～10:20	8:50～10:20	8:50～10:20		8:30～17:00
WS-20 「専門性の高い精神科看護師による訪問看護師へのコンサルテーションの効果の可能性」	WS-21 「教育に活かすマインドフルネス—マインドフルネスの瞑想をしてから、看護学生・看護師の教育で日頃感じていることを話そう—」	WS-22 「ギャンブル等依存症問題の今を知り、看護を考えよう！～地域に つなぐ当事者と家族支援のあり方について～」		
10:30～12:00	10:30～12:00	10:30～12:00		
WS-25 「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指した精神保健看護学カリキュラムの改編」	WS-26 「自殺が起きた場合のスタッフの支援方法と支援体制を考える—精神保健看護分野のポストベンション—」	WS-27 「AIで進化する精神看護—認知行動療法とチャットボットによる新時代の看護師のメンタルヘルス支援—」		
				企業展示
13:20～14:50	13:20～14:50	13:20～14:50		
WS-30 「学生が病院と地域で切れ目なく精神看護学を学ぶために何ができるか、みんなで話し合ってみませんか？～病棟とデイケアの連携の取り組み～」	WS-31 「安心できる関係性について考える～WRAPにふれて～」	WS-32 「価値観を明確にするツール「オタワ意思決定ガイド」を使って、SDMを体験してみよう！」		
				15:00～17:00
15:10～16:40	15:10～16:40	15:10～16:40		
WS-35 「ACT(包括型地域生活支援)が実践するリカバリ、ストレングス、パーソンセンタードケアを取り入れた支援の体験型ワークショップ」	WS-36 「あなたもメタ認知トレーニングを始めてみませんか？」	WS-37 「若手教員が考える、教育者としての成長における「安心」の意義—教員として、省察をする機会を持つ—」	ポスター撤去	

プログラム

◆メインプログラム

1日目 9:10～10:20

第1会場(ホール)

会長講演

こころのケアのユニバーサル化と安心の考究

演者：田中 浩二（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

座長：長谷川雅美（富山福祉短期大学）

1日目 10:30～12:00

第1会場(ホール)

教育講演1

途上国における精神保健支援の新たな潮流と人道災害への対応

演者：堤 敦朗（WHO西太平洋地域事務局／金沢大学融合研究域融合科学系）

座長：萱間 真美（国立看護大学校長）

1日目 14:00～15:30

第2会場(会議棟2F大集会室)

教育講演2

「素直でまじめでいい子」でも「失敗することが怖い」

～いい子症候群の若者たちと共に前へ進むために～

演者：金間 大介（金沢大学融合研究域融合科学系教授／東京大学未来ビジョン研究センター客員教授／
一般社団法人WE AT(ウィーアット)副代表理事／日本知財学会理事）

座長：澤田いずみ（札幌医科大学保健医療学部 看護学科）

1日目 15:40～17:10

第2会場(会議棟2F大集会室)

教育講演3

“生きる”を支える

被災地での長期メンタルヘルス支援を通して

相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

演者：大川 貴子（福島県立医科大学看護学部）

座長：福田 紀子（慶応義塾大学看護医療学部）

2日目 8:50～10:20

第1会場(ホール)

教育講演4

メンタルヘルス教育の社会実装化

演者：安保 寛明（山形県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科長）

座長：寺岡征太郎（帝京大学 医療技術学部 看護学科）

2日目 10:30~12:00

第1会場(ホール)

教育講演5

死と向き合う患者のこころのケアー4000人と対話した精神科医の経験からー

演者：清水 研（公益財団法人がん研究会 有明病院 腫瘍精神科部長）

座長：野末 聖香（慶應義塾大学 看護医療学部）

2日目 10:30~12:00

第2会場(会議棟2F大集会室)

教育講演6

ポジティブ心理学の研究での活用

演者：千葉 理恵（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 精神保健看護学分野）

座長：宮本 有紀（東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻）

1日目 15:00~17:15

第1会場(ホール)

国際交流講演

演者：Karen Lascelles（Oxford School of Nursing and Midwifery, Faculty of Health and Life Sciences, Oxford Brookes University）

演者：Toby Raeburn（School of Nursing, Midwifery and Paramedicine；Australian Catholic University）

座長：田中 浩二（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

千葉 理恵（京都大学医学研究科人間健康科学系専攻）

1日目 10:30~12:00

第2会場(会議棟2F大集会室)

シンポジウム1

居場所をつくるケア

演者：長谷川雅美（富山福祉短期大学）

西村 詠子（認定NPO法人がんとむきあう会）

本間 雅代（ボランティアグループしおり代表／元石川県能登北部保健福祉センター次長）

宮田 隼（コミュニティハウスひとのま）

座長：長谷川雅美（富山福祉短期大学）

松本 賢哉（京都橘大学看護学部）

2日目 8:50～10:20

第2会場(会議棟2F大集会室)

シンポジウム2

実践に生かすための質的研究を目指して

- 演者：長山 豊（金沢医科大学看護学部）
 近田真美子（大阪成蹊大学看護学部）
 長田 恭子（金沢大学医薬保健研究域保健学系）
 座長：畦地 博子（高知県立大学看護学部）
 長山 豊（金沢医科大学看護学部）

2日目 15:00～16:30

第1会場(ホール)

シンポジウム3

能登半島地震被災者のケア

- 演者：石尾 大輔（いまこ親の会）
 東間 正人（石川こころのケアセンター・青和病院）
 岡浦真心子（らいず訪問看護ステーション）
 座長：北岡 和代（前公立小松大学保健医療学部・社会福祉法人なごみの郷）
 山岡 由実（大阪医科薬科大学看護学部）

2日目 13:20～14:50

第1会場(ホール)

理事会企画シンポジウム

健康危機の現場で支援活動を行う支援者へのメンタルヘルス支援

- 演者：平田有美恵（厚生労働省大臣官房厚生科学課 災害等危機管理対策室 国際健康危機管理調整官）
 佐藤 寧子（淀川キリスト教病院 精神看護専門看護師／大阪大学大学院医学系研究科招へい教員）
 小山 達也（聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程）
 石川 恵己（特定医療法人共和会 共和病院 精神看護専門看護師）
 座長：萱間 真美（国立看護大学校）
 寺岡征太郎（帝京大学 医療技術学部 看護学科）

2日目 15:00～16:30

第2会場(会議棟2F大集会室)

日本精神科看護協会合同企画シンポジウム

専門性の高い看護師が外来で行う看護実践

研究調査報告：西池絵衣子（兵庫県立大学）
 実践報告：則村 良（駒木野病院・精神看護専門看護師）
 竹原 厚子（香川県立丸亀病院・精神科認定看護師）
 ディスカッション・ファシリテーター：
 田井 雅子（副委員長・高知県立大学）
 浅沼 瞳（昭和医科大学）
 池内 香（高知県立大学）
 岡 京子（駒沢女子大学）
 小山 達也（聖路加国際大学大学院）
 竹林 令子（杏林大学）
 辻脇 邦彦（東都大学）
 西池絵衣子（兵庫県立大学）
 三井 督子（京都大学）
 渡辺 純一（井之頭病院）
 座長：畠山 卓也（委員長・高知県立大学）
 草地 仁史（業務執行理事・政策企画局長）

1日目 12:10～13:10

第1会場(ホール)

能登半島被災地支援講演

被災地からのご協力：株式会社れん らいず訪問看護ステーション

メディスンとアートの融合研究

演者：菊知 充（金沢大学医薬保健研究域医学系）
 座長：宮本 満寛（らいず訪問看護ステーション統括管理責任者）

2日目 8:50～10:20

第3会場(3F大練習室)

災害対策委員会企画ワークショップ

災害に備えて平時からの備えを共に考えましょう

“Psychological・Zero・Aid”のご紹介

大川 貴子（福島県立医科大学）
 福田 紀子（慶応義塾大学）
 澤田いずみ（札幌医科大学）
 加藤 郁子（福島県立医科大学）
 田中 浩二（金沢大学）
 柳澤 美紀（長野赤十字病院）
 山岡 由美（大阪医科薬科大学）
 岩切真砂子（慈恵病院）
 藤代 知美（四国大学）
 青本さとみ（九州大学）

1日目 12:10～13:50

第2会場(会議棟2F大集会室)

ランチョンセミナー1(共催シンポジウム)

共催:ニプロ株式会社

身体抑制に頼らない看護がもたらす安心
～チャレンジを続けることで得たものと見えてきた課題～

演者: 辻 千芽 (金沢大学附属病院 副院長 看護部長)
大田黒一美 (金沢大学附属病院 副看護部長)
北野真知子 (金沢大学附属病院 看護師長)
出村 淳子 (金沢大学附属病院 看護師長)
中村ゆきえ (金沢大学附属病院 看護師長)
座長: 武用 百子 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
岩切真砂子 (公益財団法人 慈主会 慈主病院)

2日目 12:10～13:10

第1会場(ホール)

ランチョンセミナー2

共催:住友ファーマ株式会社

多職種支援でロナセンテープをどう活かすか -患者に寄り添った治療の実践-

演者: 河合真智子 (医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院 看護師)
高塩 理 (東京医科大学八王子医療センター リエゾンセンター センター長・臨床准教授)
座長: 大江 真人 (金沢医科大学看護学部)

2日目 12:10～13:10

第2会場(会議棟2F大集会室)

ランチョンセミナー3

共催:トキノ株式会社 訪問看護ステーションみのり

YouTube発!メンタルヘルスリテラシーの新たな広がり
～登録者数64万人の益田先生の視点から～

演者: 益田 裕介 (早稲田メンタルクリニック院長)
座長: 小瀬古伸幸 (トキノ株式会社 訪問看護ステーションみのり統括所長)

1日目 13:20～14:50

第1会場(ホール)

市民公開講座

こころの傷を癒すということ

演者: 安 成洋 (こころの傷を癒すということ製作委員会)
安達もじり (NHK大阪放送局)
田中 究 (兵庫県立ひょうごこころの医療センター名誉院長)
座長: 田中 浩二 (金沢大学医薬保健研究域保健学系)

◆ワークショップ

1日目 10:30～12:00	第4会場(1F第9会議室)
ワークショップ-01	

WS-01 精神科医療現場における不適切なケアについて検討し予防しよう！

桐山啓一郎¹⁾，村岡 大志²⁾，小野 悟³⁾，高木みちる⁴⁾，石川かおり⁵⁾

- 1) 名古屋市立大学，2) 一宮研伸大学，3) 岐阜協立大学，4) 公益社団法人岐阜病院，
5) 岐阜県立看護大学

1日目 10:30～12:00	第5会場(1F第10会議室)
ワークショップ-02	

WS-02 被災・喪失体験をした子どもへの支援について～地域で寄り添い、支えあうために、私たちができること～

佐藤 利憲¹⁾，佐々木竹美²⁾，橋本 洋祐³⁾

- 1) 福島県立医科大学看護学部，2) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院，
3) 福島県立ふくしま医療センターこころの杜

1日目 10:30～12:00	第6会場(2F第6・7会議室)
ワークショップ-03	

WS-03 うつ病の看護を深めましょう！～「日本うつ病学会うつ病看護ガイドライン」の活用方法と事例検討～

香月富士日¹⁾，青木 裕見²⁾，岡田 佳詠³⁾，河野佐代子⁴⁾，木村 洋子⁵⁾，小高 恵実⁶⁾，
小山 達也²⁾，佐藤 寧子⁷⁾，玉木 敦子⁸⁾，野末 聖香⁹⁾，船越 明子¹⁰⁾，松浦 彩美¹¹⁾

- 1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科，2) 聖路加国際大学大学院看護学研究科，
3) 国際医療福祉大学成田看護学部，4) 慶應義塾大学病院，5) 同志社女子大学看護学部，
6) 上智大学総合人間科学研究科，7) 慶應義塾大学SFC研究所，8) 神戸女子大学看護学部，
9) 慶應義塾大学看護医療学部，10) 神戸市看護大学，11) 順天堂大学医療看護学部

1日目 10:30～12:00	第7会場(2F第5会議室)
ワークショップ-04	

WS-04 リカバリーの視点で考える看護学生を育成するには？演習・実習でのWellness Recovery Action Plan(WRAP)の活用事例について

矢山 壮，的場 圭，手寫 大喜，吉田 麻美，三木 明子

関西医科大学 看護学部

1日目 10:30~12:00

第8会場(3F第3会議室)

ワークショップ-05

WS-05 精神科病棟におけるストレングスしこうに向けた事例検討会・・・笑抱の会 @JAPMHN35

片岡 三佳¹⁾, 藤原 稔章²⁾, 渋谷 隆幸³⁾, 福山 敦子⁴⁾, 藪田 歩⁵⁾

- 1) 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻, 2) 藍里病院,
- 3) リンクよこはま訪問看護ステーション, 4) 訪問看護ステーション聲,
- 5) 訪問看護ステーションみのり

1日目 13:20~14:50

第4会場(1F第9会議室)

ワークショップ-06

WS-06 第3回インクルーシブCafe 精神科医療に連綿と続く虐待の歴史を変えるー改正精神保健福祉法に関するエコマップ作製を通して考えるー

夫 博美¹⁾, 福田久仁子³⁾, 佐藤 寧子⁴⁾, 片岡 三佳⁶⁾, 山内 彩香⁵⁾, 福嶋 美貴²⁾, 安保 寛明⁷⁾

- 1) 大和大学 保健医療学部 看護学科, 2) 中部大学生命健康科学部 保健看護学科,
- 3) 福山平成大学看護学部看護学科, 4) 慶應義塾大学SFC研究所,
- 5) 大阪医科薬科大学看護学部看護学科, 6) 三重大学医学系研究科看護学専攻,
- 7) 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科

1日目 13:20~14:50

第5会場(1F第10会議室)

ワークショップ-07

WS-07 臨床行動分析を用いたリカバリー支援と看護への応用

加藤 宏公¹⁾, 柳澤 博紀²⁾, 大瀧 明子³⁾

- 1) 愛知県立大学 看護学部, 2) 医療法人桜桂会 犬山病院, 3) 滋賀県立精神医療センター

1日目 13:20~14:50

第6会場(2F第6・7会議室)

ワークショップ-08

WS-08 精神科医療における開かれた会話ーリフレクティング・プロセスの試みー

西池絵衣子¹⁾, 末安 民生²⁾, 松本 奈央¹⁾

- 1) 兵庫県立大学看護学部, 2) 佛教大学保健医療技術学部

1日目 13:20~14:50

第7会場(2F第5会議室)

ワークショップ-09

WS-09 児童思春期精神科における日課や行事を通したケア

遠山 梓¹⁾, 吉武 慎治¹⁾, 高橋 歩夢¹⁾, 佐藤 典子^{1,2)}, 長野 真澄³⁾, 湯浅 度恵⁴⁾,
村上 晶代⁵⁾, 船越 明子⁶⁾

- 1) 東京都立小児総合医療センター, 2) 聖徳大学大学院児童学研究科,
3) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院, 4) 信州木曽看護専門学校,
5) 大分県立病院精神医療センター, 6) 神戸市看護大学

1日目 13:20~14:50

第8会場(3F第3会議室)

ワークショップ-10

WS-10 精神科看護における対人関係論の伝承～宮本真巳先生と語ろう～

津田 哲也¹⁾, 宮本 真巳²⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター病院 医療観察法病棟勤務, 2) 元亀田医療大学看護学部

1日目 13:20~14:50

第9会場(3F第4会議室)

ワークショップ-11

WS-11 自傷をくりかえす患者のこころのケアを考える事例検討

小林 信^{1,8)}, 新井 守²⁾, 神澤 尚利^{3,8)}, 須藤 公裕^{4,8)}, 寺岡征太郎^{5,8)}, 寺田 美樹^{1,8)},
則村 良^{6,8)}, 田上美千佳⁷⁾

- 1) 東京医科大学医学部看護学科,
2) 帝京大学大学院医療技術学研究科看護学専攻博士前期課程,
3) 東京都立大学健康福祉学部看護学科, 4) 医療法人愛精会あいせい紀年病院,
5) 帝京大学医療技術学部看護学科, 6) 医療法人財団青溪会駒木野病院,
7) 千葉大学大学院看護学研究科, 8) 精神看護ケア検討会事務局

1日目 15:10~16:40

第4会場(1F第9会議室)

ワークショップ-12

WS-12 臨床・教育の現場で倫理を語ると何が起きるのか～体験談を共有しませんか～

高木 美歩¹⁾, 矢治亜樹子²⁾, 小倉 圭介³⁾, 富樫 剛清⁴⁾, 葛島 慎吾⁵⁾, 田代真利子⁶⁾,
前田 愛⁷⁾, 西 将希⁸⁾, 板橋朱麻留⁹⁾, 井出 晶恵¹⁰⁾, 本武 敏弘¹¹⁾

- 1) 一般社団法人メンタルヘルスサポート九州 訪問看護ステーション アトラス福岡,
2) 西南女学院大学保健福祉学部看護学科, 3) 順天堂大学医学部附属浦安病院,
4) 医療法人社団積信会長谷川病院, 5) 宮崎県立看護大学看護学部,
6) 東京女子医科大学看護学部, 7) 昭和医科大学横浜市北部病院,
8) 帝京大学医療技術学部看護学科, 9) 淑徳大学看護栄養学部看護学科,
10) 東京女子医科大学大学院看護学研究科, 11) 福岡女学院看護大学

1日目 15:10～16:40

第5会場(1F第10会議室)

ワークショップ-13

WS-13 パーソナルリカバリー×ソーシャルフットボール！ ―当事者が熱中する活動について理解を深め、語り合おう―

大江 真人¹⁾、長山 豊¹⁾、山口 千夏¹⁾、大江 真吾²⁾、相上 律子^{3,4)}、別宗 利哉⁵⁾、川端 浩頌⁶⁾、山田 浩史⁶⁾、中野 喜文⁶⁾、石田 嵩人⁶⁾

- 1) 金沢医科大学 看護学部、2) 石川県立看護大学 看護学部、
- 3) 公立小松大学 保健医療学部 看護学科、4) 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科、
- 5) GENESIS株式会社／ヴィンセドール ルミナス代表 兼 総監督、
- 6) ヴィンセドール ルミナス

1日目 15:10～16:40

第6会場(2F第6・7会議室)

ワークショップ-14

WS-14 哲学対話:精神保健看護の立場から闇バイトの背景にある問題を語ろう！ ―アディクションの視点から―

福嶋 美貴¹⁾、磯野 洋一²⁾、今泉 源³⁾、小野坂益成⁴⁾

- 1) 中部大学 生命健康科学部 保健看護学科、2) 金城学院大学看護学部看護学科、
- 3) 名古屋市立大学大学院看護学研究科、4) 松蔭大学看護学部看護学科

1日目 15:10～16:40

第7会場(2F第5会議室)

ワークショップ-15

WS-15 精神科訪問看護のよい実践とは？ 訪問看護の強みを皆で考えよう

瀬戸屋 希¹⁾、木戸 芳史²⁾、青木 裕見¹⁾、矢内 里英³⁾、小泉 快⁴⁾

- 1) 聖路加国際大学、2) 浜松医科大学、3) 訪問看護ステーションぼしぶる、
- 4) 訪問看護ステーション ソレイユハートケア

1日目 15:10～16:40

第8会場(3F第3会議室)

ワークショップ-16

WS-16 発達障害のある子どもと家族への包括的支援―トラウマインフォームドケアと対話を通じた新たな支援の可能性―

石橋佐枝子¹⁾、守村 洋²⁾

- 1) 敦賀市立看護大学、2) 札幌市立大学看護学部

1日目 15:10～16:40

第9会場(3F第4会議室)

ワークショップ-17

WS-17 精神科看護師のためのマインドフルネスとコンパッション

佐藤 寧子¹⁾, 秋山 美紀²⁾, 緑川 綾³⁾, 野末 聖香³⁾

- 1) 慶應義塾大学 SFC研究所, 2) 武蔵野大学ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科,
3) 慶應義塾大学看護医療学部

2日目 8:50～10:20

第4会場(1F第9会議室)

ワークショップ-18

WS-18 現場で活用！リフレクティング体験ワークショップ

小瀬古伸幸¹⁾, 中村 創²⁾

- 1) 訪問看護ステーションみのり, 2) TOINO AIMS株式会社

2日目 8:50～10:20

第5会場(1F第10会議室)

ワークショップ-19

WS-19 精神保健看護学の実践・教育現場で活用できる「渡辺式家族アセスメント／支援モデル」

磯野 洋一¹⁾, 堤 真紀²⁾, 岡本 史彦²⁾

- 1) 金城学院大学 看護学部 看護学科, 2) 訪問看護ステーションみのり

2日目 8:50～10:20

第6会場(2F第6・7会議室)

ワークショップ-20

WS-20 専門性の高い精神科看護師による訪問看護師へのコンサルテーションの効果の可能性

渡辺 純一^{1,9)}, 小山 達也^{2,9)}, 岡 京子^{3,9)}, 竹林 令子^{4,9)}, 浅沼 瞳^{5,9)}, 西池絵衣子^{6,9)},
則村 良^{7,9)}, 畠山 卓也^{8,9)}

- 1) 公益財団法人井之頭病院, 2) 聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程,
3) 駒沢女子大学看護学部, 4) 杏林大学保健学部, 5) 昭和大学保健医療学部看護学科,
6) 兵庫県立大学看護学部, 7) 医療法人財団青溪会駒木野病院, 8) 高知県立大学看護学部,
9) 日本精神保健看護学会学術連携委員

2日目 8:50～10:20

第7会場(2F第5会議室)

ワークショップ-21

WS-21 教育に活かすマインドフルネス—マインドフルネスの瞑想をしてから、看護学生・看護師の教育で日頃感じていることを話そう—

松浦 彩美¹⁾, 根本 友見²⁾

- 1) 順天堂大学 医療看護学部, 2) 国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科

2日目 8:50～10:20

第8会場(3F第3会議室)

ワークショップ-22

WS-22 ギャンブル等依存症問題の今を知り、看護を考えよう！～地域につなぐ当事者と家族支援のあり方について～

吉井ひろ子¹⁾，坂本 拳²⁾，青柳とみ子³⁾，大野さゆり³⁾

- 1) 関西国際大学，
- 2) 一般社団法人グレイス・ロード(ギャンブル依存症回復施設) 甲斐サポートセンター，
- 3) 公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会・家族にギャンブル依存症者をもつNs部会

2日目 10:30～12:00

第4会場(1F第9会議室)

ワークショップ-23

WS-23 当事者のストレングスと情熱が実る農福連携！！当事者の力を活かす福祉サービス事業所と地域との協働を紹介します！

大江 真吾¹⁾，別宗 利哉²⁾，澤邊 友彦³⁾，長山 豊⁴⁾，大江 真人⁴⁾，山口 千夏⁴⁾

- 1) 石川県立看護大学， 2) GENESIS 株式会社 NEIGHBOR AGITO / CAGULA，
- 3) 株式会社ポタジェ ハーブ農園ペザン， 4) 金沢医科大学 看護学部

2日目 10:30～12:00

第5会場(1F第10会議室)

ワークショップ-24

WS-24 精神看護学実習における臨床指導者と教員の協同のかたち～普遍的な共通理解の新たな構築を目指して～

佐藤 美保¹⁾，田野 将尊²⁾，茅根 寛子³⁾，渡辺 純一³⁾，浅沼 瞳⁴⁾，小川 賀恵⁵⁾

- 1) 杏林大学 保健学部 看護学科 看護学専攻， 2) 医療法人 埼玉会 埼玉草加病院，
- 3) 公益財団法人 井之頭病院， 4) 昭和大学 保健医療学部 看護学科，
- 5) 東京医療保健大学 立川看護学部

2日目 10:30～12:00

第6会場(2F第6・7会議室)

ワークショップ-25

WS-25 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指した精神保健看護学カリキュラムの改編

守村 洋，渋谷 友紀

札幌市立大学 看護学部

2日目 10:30~12:00

第7会場(2F第5会議室)

ワークショップ-26

WS-26 自殺が起きた場合のスタッフの支援方法と支援体制を考える —精神保健看護分野のポストベンション—小山 達也¹⁾, 河野佐代子²⁾, 北野 進³⁾, 田嶋佐知子⁴⁾, 田中 浩二⁵⁾, 田久保美千代⁶⁾

- 1) 聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程,
- 2) 慶應義塾大学病院看護部・医療連携推進部,
- 3) 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院,
- 4) ホウカンTOKYO教育・研究企画部, 5) 金沢大学医薬保健研究域保健学系,
- 6) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科後期博士課程

2日目 10:30~12:00

第8会場(3F第3会議室)

ワークショップ-27

WS-27 AIで進化する精神看護 —認知行動療法とチャットボットによる新時代の看護師のメンタルヘルス支援—石塚 真美¹⁾, 岡田 佳詠¹⁾, 室井 慧²⁾, 蜂須賀智子³⁾, 氏家 好野⁴⁾

- 1) 国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科, 2) 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構,
- 3) 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター,
- 4) 株式会社Plusbase

2日目 13:20~14:50

第4会場(1F第9会議室)

ワークショップ-28

WS-28 実習期の看護学生における睡眠問題の改善に向けて:多様な背景要因の理解と現場での具体的支援木村(萱場)桃子¹⁾, 咲間 妙子²⁾, 片山 典子³⁾, 石塚 真美⁴⁾, 長谷川陽子⁵⁾

- 1) 筑波大学 医学医療系(日本学術振興会特別研究員), 2) 帝京大学 医療技術学部,
- 3) 湘南医療大学大学院, 4) 国際医療福祉大学 成田看護学部, 5) 常磐大学 看護学部

2日目 13:20~14:50

第5会場(1F第10会議室)

ワークショップ-29

WS-29 精神障害を持つ妊産婦と家族への看護ケアと多職種・多機関連携による支援玉木 敦子¹⁾, 蒲池あずさ²⁾, 高橋 秋絵¹⁾, 八田 篤郎³⁾, 松岡 裕美⁴⁾, 松長 麻美⁵⁾, 山田 顕子⁶⁾

- 1) 神戸女子大学 看護学部 看護学科, 2) 北里大学北里研究所病院 看護部,
- 3) 医療法人尚生会 湊川病院, 4) 東京科学大学病院 メンタルヘルス・リエゾンセンター,
- 5) 東京科学大学大学院 保健衛生学研究科, 6) 神戸市立西神戸医療センター 看護部

2日目 13:20～14:50

第6会場(2F第6・7会議室)

ワークショップ-30

WS-30 学生が病院と地域で切れ目なく精神看護学を学ぶために何ができるか、みんなで話し合ってみませんか？～病棟とデイケアの連携の取り組み～

茅根 寛子¹⁾，渡辺 純一¹⁾，佐藤 英則¹⁾，小澤 秀之¹⁾，山上 充子¹⁾，小川 賀恵²⁾

1) 公益財団法人 井之頭病院，2) 東京医療保健大学 立川看護学部

2日目 13:20～14:50

第7会場(2F第5会議室)

ワークショップ-31

WS-31 安心できる関係性について考える～WRAPにふれて～

杉山 悠¹⁾，佐藤 慎子²⁾，浅井 陵³⁾，深田 尚子⁴⁾，番作 桐子⁴⁾，喜島 隆大⁵⁾

1) (株)たねや CLUB HARIE，

2) 地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立松沢病院，

3) 東京医療学院大学 保健医療学部 看護学科，4) 医療法人積仁会 岡部病院，

5) APD当事者会APS

2日目 13:20～14:50

第8会場(3F第3会議室)

ワークショップ-32

WS-32 価値観を明確にするツール「オタワ意思決定ガイド」を使って，SDMを体験してみよう！

青木 裕見¹⁾，福島 鏡²⁾

1) 聖路加国際大学大学院看護学研究科，2) 前聖路加国際大学大学院看護学研究科

2日目 15:10～16:40

第4会場(1F第9会議室)

ワークショップ-33

WS-33 自分を知ることを通して考えるセルフマネジメントのあり方 ーメンタルヘルスリテラシーの視点を活用してー

岡本 史彦，進 あすか

トキノ株式会社 訪問看護ステーションみのり

2日目 15:10～16:40

第5会場(1F第10会議室)

ワークショップ-34

WS-34 みんなで語ろう！「精神保健看護領域における高度実践看護って何だろう」

松村麻衣子^{1,13)}，本武 敏弘^{2,13)}，三井 督子^{3,13)}，馬場華奈己^{4,13)}，高木 美歩^{5,13)}，
下野 史子^{6,13)}，遠藤 恵美^{7,13)}，小野寺悠斗^{8,13)}，白井 教子^{9,13)}，若山 仁大^{10,13)}，
武用 百子^{11,13)}，寺岡征太郎^{12,13)}

- 1) 大阪信愛学院大学 看護学部，2) 福岡女学院看護大学，3) 京都大学大学院，
4) 大阪公立大学医学部附属病院，5) 訪問看護ステーションアトラス福岡，
6) 袖ヶ浦さつき台病院，7) 横浜市立大学附属市民総合医療センター，8) 湘南医療大学，
9) 北里大学病院，10) 訪問看護ステーションいしずえ町田，11) 大阪大学大学院，12) 帝京大学，
13) 日本精神保健看護学会高度実践看護師活用促進検討委員会

2日目 15:10～16:40

第6会場(2F第6・7会議室)

ワークショップ-35

WS-35 ACT(包括型地域生活支援)が実践するリカバリ、ストレングス、パーソンセンタードケアを取り入れた支援の体験型ワークショップ

角谷圭太郎¹⁾，中島 大輔¹⁾，別宗 利哉¹⁾，近田真美子²⁾

- 1) GENESIS株式会社 G-ACT金沢，2) 福井医療大学 保健医療学部 看護学科

2日目 15:10～16:40

第7会場(2F第5会議室)

ワークショップ-36

WS-36 あなたもメタ認知トレーニングを始めてみませんか？

則包 和也¹⁾，北野 進²⁾，田上 博喜³⁾

- 1) 香川県立保健医療大学，2) 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院，
3) 宮崎大学医学部 看護学科

2日目 15:10～16:40

第8会場(3F第3会議室)

ワークショップ-37

WS-37 若手教員が考える、教育者としての成長における「安心」の意義－教員として、省察をする機会を持つ－

大河内敦子¹⁾，森本 淳子²⁾，兒玉 善明³⁾，蔵本 綾⁴⁾

- 1) 帝京大学 医療技術学部 看護学科，
2) 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科精神保健看護学領域，
3) 愛知県立大学 看護学部，4) 香川大学 医学部 看護学科

◆一般演題 □演

1日目 10:30~11:45

第3会場(3F大練習室)

一般演題 □演第1群 地域・災害精神保健

座長：中戸川早苗（北里大学 健康科学部）

竹内 陽子（岐阜聖徳学園大学 看護学部）

O-01 精神に障害をもつピアスタッフが就労継続支援事業所B型での働き始めに感じた困難感と対処法略

○牧之瀬 稔，小谷野康子

東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科 看護学専攻

O-02 就労中の精神障害者の生活構築 ―就労の意味に焦点を当てて―

○巽 真希子¹⁾，川田 美和²⁾

1) 兵庫県立はりま姫路総合医療センター，2) 兵庫県立大学

O-03 地域で生活する精神障害者の問題行動が顕在化して近隣苦情がみられた際に保健師が行う対応についての国内文献レビュー

○山口 千夏，長山 豊，大江 真人

金沢医科大学 看護学部

O-04 2024年能登半島地震における精神障害者の避難経路と病状悪化の関連

○中井 寿雄¹⁾，大江 真人²⁾，長山 豊²⁾，大江 真吾³⁾，山口 千夏²⁾，田中 浩二⁴⁾

1) 高知県立大学 看護学部，2) 金沢医科大学 看護学部，3) 石川県立看護大学 看護学部，
4) 金沢大学 医薬保健研究域保健学系

O-05 令和6年能登半島地震後、能登地方で精神疾患をもつ人を支える支援者の体験

○角田 秋，関本 朋子，福島 鏡

東京有明医療大学 看護学部 看護学科

1日目 13:20~14:50

第3会場(3F大練習室)

一般演題 □演第2群 精神疾患をもつ人への看護

座長：永井 優子（前自治医科大学看護学部）

小山 達也（聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程）

O-06 精神科急性期病棟に非自発的入院となった統合失調症患者の自我を保護する看護師の関わり

○望月 花¹⁾，瓜崎 貴雄²⁾

1) 沖縄県立看護大学大学院 保健看護学研究科，2) 沖縄県立看護大学

- O-07 治療抵抗性統合失調症患者家族の障害受容のプロセスにおける看護支援:事例研究**
○小高真由美¹⁾, 畠 稔¹⁾, 林 一輝¹⁾, 中村ゆきえ¹⁾, 田中 浩二²⁾
1) 金沢大学附属病院 看護部, 2) 金沢大学 医薬保健研究域保健学系
- O-08 精神科病棟における成人の自閉スペクトラム症者のこだわり行動に対する看護師の対応**
○橋本 洋祐¹⁾, 佐藤 利憲²⁾
1) 福島県立ふくしま医療センターこころの杜, 2) 福島県立医科大学 看護学部
- O-09 精神科看護師を支える境界性パーソナリティ障害患者対応サポートプログラムの検討のためのパイロットスタディ**
○金子 奈未
長野赤十字病院
- O-10 摂食障害患者の思いに寄り添う継続支援**
○細川 啓子, 西山恵美子, 中村ゆきえ, 丸谷 晃子
金沢大学附属病院 看護部
- O-11 地域で暮らす摂食障害をもつ人の心身の健康に関するビリーフと取り組みについての研究**
○藤田 陽子
豊橋創造大学 保健医療学部 看護学科

1日目 15:10~16:40

第3会場(3F大練習室)

一般演題 口演第3群 精神看護における多様な支援の検討

座長：山田 浩雅（愛知県立大学看護学部）

川口めぐみ（福井大学学術研究院医学系部門看護学領域）

- O-12 精神科急性期における患者の薬物療法への看護師の関与のプロセスーShared Decision Makingへの実現に向けてー**
○菊池 敦子¹⁾, 森 真喜子²⁾
1) 国立国府台医療センター, 2) 国立看護大学校
- O-13 精神科急性期病棟における開放観察時に看護師が抱く困難感**
○村上 晶代
大分県立病院精神医療センター
- O-14 精神障害当事者とともに考える行動制限最小化研修の作成と有効性の検討**
○三宅 美智¹⁾, 深澤 舞子²⁾, 吉川 隆博³⁾
1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所,
2) 福島県立医科大学 健康増進センター, 3) 東海大学 医学部 看護学科

O-15 医療観察法に基づく看護ガイドラインの作成過程に関するインタビュー調査○松浦 佳代¹⁾, 坂口 豊代²⁾, 森 真喜子¹⁾

1) 国立看護大学校, 2) 大手前大学

O-16 精神科長期入院患者の退院支援での行き詰まり感を感じている看護師への支援の検討ーリフレクティングを用いた相談を試みてー○矢野絵梨佳¹⁾, 三澤 文紀²⁾, 大川 貴子³⁾

1) ふくしま医療センターこころの杜,

2) 福島県立医科大学 総合科学教育研究センター 人文・社会科学領域,

3) 福島県立医科大学 看護学部 小児・精神看護学部門

O-17 悪い知らせを受けたがん患者が怒りを表出する場面における看護師の対応ー腫瘍内科および血液内科病棟に勤務する中堅看護師に焦点を当てた質的研究ー

○樋口 頼良

地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター

2日目 10:30~11:45**第3会場(3F大練習室)****一般演題****□演第4群****倫理的課題・悩み・葛藤への対応**

座長：三木 明子（関西医科大学看護学部・看護学研究科）

片山 美穂（公立小松大学 保健医療学部）

O-18 精神障害をもつ人の権利擁護の現状ー身体障害をもつ人との相違に焦点を当ててー

○杉本圭以子, 小野静里奈

大分県立看護科学大学

O-19 精神科看護師が認識する倫理的風土と倫理的悩みおよびワーク・エンゲイジメントとの関連○中村 優美^{1,2)}, 岡田 佳詠³⁾

1) 医療法人大社会 久喜すずのき病院,

2) 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 修士課程,

3) 国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科

O-20 精神科における看護師の倫理的葛藤に関する関連要因の検討

○江頭 薫, 永嶋由理子

訪問看護ステーションTOMO西

O-21 人工妊娠中絶を繰り返す軽度知的障害のある患者の意思決定支援を行った一症例

○新村はるか, 武田美恵子

北見赤十字病院

O-22 精神科病院における障害者虐待事件についての調査報告書の分析

○春日 飛鳥¹⁾，明間 正人²⁾，佐藤 寧子³⁾，岸本久美子⁴⁾

1) 日下部記念病院，2) 医療法人昨雲会 飯塚病院，3) 慶應義塾大学SFC研究所，
4) 帝京平成大学 ヒューマンケア学部

2日目 13:20～14:50

第3会場 (3F大練習室)

一般演題 □演第5群 看護教育、看護師の体験・経験

座長：片岡 三佳（三重大学大学院医学系研究科看護学専攻）

一ノ山隆司（金城大学看護学部）

O-23 総合病院新人看護師におけるリアリティショックと情動知能(EQ)の関連

○梅田 真志¹⁾，香月富士日²⁾

1) 名古屋市立大学大学院 看護学研究科 博士前期課程，
2) 名古屋市立大学大学院 看護学研究科

O-24 コロナ禍で生まれた精神看護実習における学生二交代受け持ち制に関わる実践報告

○澤田いずみ，原田 由香，小川 賢一

札幌医科大学保健医療学部

O-25 看護系大学生の体型不安と食行動および自己評価との関連

○小西 泰生¹⁾，織笠 萌子²⁾，萩 美祥³⁾，田中 留伊⁴⁾，中村 裕美⁴⁾，菅原 裕美⁴⁾

1) 国立研究開発法人 国立精神神経医療研究センター病院，
2) 医療法人財団 青溪会 駒木野病院，3) 横浜カメリアホスピタル，
4) 東京医療保健大学 東が丘看護学部

O-26 精神科病棟から他病棟へ異動した看護師による精神科の経験の活用

○松井沙耶香

福島県立医科大学附属病院 PICU

O-27 精神科に従事する看護師が患者の自死から受ける経験の特徴

○小池 茉莉

上智大学大学院 実践宗教学研究科 死生学専攻

O-28 病院看護師のワーク・エンゲイジメントおよびワーカホリズムと個人のコーピング特性に関する研究

○佐々木和実¹⁾，安保 寛明²⁾，高谷 新²⁾，佐藤 大輔³⁾

1) 山形市立病院済生館，2) 山形県立保健医療大学 看護学部 看護学科，
3) 東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科

座長：石川かおり（岐阜県立看護大学）

守村 洋（札幌市立大学看護学部）

O-29 一般病床入院中に自殺念慮を訴える患者への自殺予防のための看護実践—中堅看護師に焦点を当てた質的研究—

○頼友 和平

大阪府立大学大学院 看護学研究科

O-30 自殺企図にいたった患者の経験 —短期間で再企図にいたった患者の入院中の語りから—

○高橋麻理子¹⁾，安保 寛明²⁾，高橋 葉子³⁾

1) 山形県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻 博士前期課程，

2) 山形県立保健医療大学 看護学科，3) 宮城大学 看護学群

O-31 主体性支援評価尺度(PASQ: Personal Agency Support Questionnaire): 尺度開発と精神科急性期入院患者における心理測定評価

○梶原 友美¹⁾，林 佑太²⁾，杉原 正美³⁾，千葉 理恵⁴⁾

1) 神戸大学大学院 保健学研究科 パブリックヘルス領域，

2) 神戸大学大学院 保健学研究科 看護学領域，3) 社会医療法人北斗会 さわ病院，

4) 京都大学大学院 医学研究科 精神保健看護学分野

O-32 精神保健福祉の専門職者におけるネガティブ・ケイパビリティ自己評価尺度の開発

○福嶋 美貴

中部大学 生命健康科学部 保健看護学科

O-33 フリースペースを利用する若者のストレス反応に対するコーピング特性と自己効力感の関連

○萩原 羽麗¹⁾，鈴木 龍生^{1,2)}，高谷 新¹⁾

1) 山形県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科，2) いちまる訪問看護ステーション

O-34 養護教諭のメンタルヘルス・リテラシーの実態と関連要因

○小川 光江¹⁾，森 千鶴²⁾，大谷 保和³⁾，森田 展彰³⁾，斎藤 環⁴⁾

1) 筑波大学人間総合科学学術院，2) 東京医療学院大学，3) 筑波大学医学医療系，

4) つくばダイアログハウス

◆一般演題 示説（ポスターセッション）

1日目 15:10～16:10	ポスター会場(ホール3Fロビー)
一般演題	示説(ポスターセッション)

P-01 身体科病棟看護師における精神疾患を有する入院患者との心理的距離—患者の精神疾患の有無によるunder-involvementの比較—

○山本 幸子¹⁾，澤田いずみ²⁾

1) JA北海道厚生連 帯広厚生病院，2) 札幌医科大学 保健医療学部 看護学科

P-02 看護師における日本語版トロント共感尺度の信頼性・妥当性の検証

○岩澤 敦史¹⁾，宮本 翔平²⁾

1) 秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座，

2) 秋田大学自殺予防総合研究センター

P-03 精神障害のある当事者が考えるリカバリーに向けて必要な看護師の姿勢と援助

○葛谷 玲子

岐阜県立看護大学

P-04 訪問看護ステーションにおけるリフレクティングを活用した管理者面談の新たな取り組み

○小瀬古伸幸¹⁾，中村 創²⁾

1) 訪問看護ステーションみのり，2) TOKINO AIMS株式会社

P-05 精神看護学実習(学内・リモート)最終日の学生が語る精神疾患対象者へのTICを意識したかわりの構造

○山元 恵子¹⁾，富川 順子¹⁾，川野 雅資²⁾，田邊 友也³⁾

1) 大阪公立大学 看護学部，2) 心の相談室 荻窪，3) 訪問看護ステーションいしずえ

P-06 児童思春期のこどもへの精神訪問看護の現状と課題—訪問看護ステーションナンナルにおけるこどもたちの背景調査と支援の実際【調査報告 第1報】—

○山下真理子，志賀 光代，丸田 加奈

訪問看護ステーション ナンナル

P-07 VR教材による保護室入室疑似体験の学習効果の評価

○岩崎 優子¹⁾，白石 裕子²⁾

1) 純真学園大学 保健医療学部 看護学科，2) 令和健康科学大学 看護学科

P-08 精神科急性期治療病棟における倫理カンファレンスの実施と看護師の倫理的感受性の変化

○高田 香苗

みやぎ静心会 国見台病院

P-09 都市部における精神科多職種連携アウトリーチの課題と強み

○石井あずさ¹⁾, 富樫 剛清²⁾, 小田桐 隆²⁾

1) 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構, 2) 積信会 長谷川病院 看護部

P-10 精神科訪問看護利用者が訪問看護をキャンセルする要因と予防策の検討

○矢山 壮¹⁾, 藤田 茂治²⁾

1) 関西医科大学 看護学部, 2) 訪問看護ステーションりすたーと

P-11 統合失調症をもつ人と暮らす家族を対象に、訪問看護で行う心理教育プログラムの開発-Aさんの事例を通して-

○青本さとみ

九州大学大学院医学研究院

P-12 精神科入院患者との間で巻き込まれを体験している新人看護師への支援

○蒲原 沙織

医療法人財団 青溪会 駒木野病院

P-13 在日外国人の社会的孤立について-その課題と支援に関する文献研究-

○三浦 美樹¹⁾, 浦山 柚香²⁾, 高田 昭³⁾, 光永 憲香³⁾

1) 国際医療福祉大学成田病院, 2) 東邦大学医療センター大橋病院, 3) 東北福祉大学

P-14 精神保健看護領域における高度実践看護師および専門性の高い看護師の活動状況と課題に関する調査(1)医療機関所属の精神看護専門看護師の活動状況

○馬場華奈^{1,2)}, 高木 美歩^{2,13)}, 松村麻衣子^{3,13)}, 本武 敏弘^{4,13)}, 三井 督子^{5,13)}, 下野 史子^{6,13)}, 遠藤 恵美^{7,13)}, 小野寺悠斗^{8,13)}, 白井 教子^{9,13)}, 若山 仁大^{10,13)}, 武用 百子^{11,13)}, 寺岡征太郎^{12,13)}

1) 大阪公立大学医学部附属病院, 2) 訪問看護ステーションアトラス福岡,
3) 大阪信愛学院大学, 4) 福岡女学院看護大学, 5) 京都大学大学院, 6) 袖ヶ浦さつき台病院,
7) 横浜市立大学附属市民総合医療センター, 8) 湘南医療大学, 9) 北里大学病院,
10) 訪問看護ステーションいしずえ町田, 11) 大阪大学大学院, 12) 帝京大学,
13) 日本精神保健看護学会高度実践看護師活用促進検討委員会

P-15 トラウマケアを向上する教育支援プログラム実施後のグループインタビューによる学び

○加藤 隆子¹⁾, 渡辺 純一²⁾, 渡辺 尚子³⁾

1) 千葉県立保健医療大学 健康科学部 看護学科, 2) 公益財団法人 井之頭病院,
3) 東邦大学 健康科学部 看護学科

P-16 精神看護学実習において指導教員が捉えるティーチャブル・モーメント -その具体化と類型化-

○永井 邦芳¹⁾, 木野 有美²⁾, 藤澤 浩美¹⁾, 岡本 将吾¹⁾

1) 名古屋学芸大学 看護学部 看護学科, 2) 元名古屋学芸大学看護学部看護学科

P-17 精神保健看護領域における高度実践看護師および専門性の高い看護師の活動状況と課題に関する調査(2)精神科認定看護師の活動状況の特徴

○三井 督子^{1,13)}, 下野 史子^{2,13)}, 松村麻衣子^{3,13)}, 本武 敏弘^{4,13)}, 馬場華奈己^{5,13)}, 高木 美歩^{6,13)}, 遠藤 恵美^{7,13)}, 小野寺悠斗^{8,13)}, 白井 教子^{9,13)}, 若山 仁大^{10,13)}, 武用 百子^{11,13)}, 寺岡征太郎^{12,13)}

- 1) 京都大学大学院, 2) 袖ヶ浦さつき台病院, 3) 大阪信愛学院大学, 4) 福岡女学院看護大学,
- 5) 大阪公立大学医学部附属病院, 6) 訪問看護ステーションアトラス福岡,
- 7) 横浜市立大学附属市民総合医療センター, 8) 湘南医療大学, 9) 北里大学病院,
- 10) 訪問看護ステーションいしずえ町田, 11) 大阪大学大学院, 12) 帝京大学,
- 13) 日本精神保健看護学会高度実践看護師活用促進検討委員会

P-18 精神科看護職者の看護実践能力と道徳的感性との関連性

○池内 彰子, 福田 大祐, 長谷川陽子
常磐大学 看護学部 看護学科

P-19 精神疾患を有する母への産後の育児支援における精神科訪問看護－看護師と助産師の協働訪問看護－

○林 裕子¹⁾, 梅林 秀行²⁾, 草野 知美¹⁾, 笹木 弘美²⁾
1) 天使大学 看護栄養学研究科 看護学専攻, 2) 北海道科学大学 保健医療学部 看護学科

P-20 神経発達症を持つ妊産婦の生活・育児上の困難への対処

○高橋 秋絵, 青木 陽子, 斎木陽理恵, 玉木 敦子
神戸女子大学 看護学部 看護学科

P-21 精神障害者の地域生活における不眠の経験:質的研究の文献レビュー

○梅林 秀行¹⁾, 山下千絵子¹⁾, 草野 知美²⁾, 林 裕子²⁾
1) 北海道科学大学 保健医療学部 看護学科, 2) 天使大学大学院 看護栄養学研究科

P-22 大人の自閉症スペクトラム障害者への支援とその効果 ―国内外の文献レビューを通して―

○伊賀 聡子¹⁾, 西村 貴子²⁾
1) 城西国際大学 看護学部, 2) 福井大学医学部附属病院

P-23 クロスオーバー試験によるエスコート方法の支援技術に関する研究:

木下 愛未, ○下里 誠二, 百瀬 公人, 西澤 公美
信州大学医学部保健学科

P-24 長期入院している統合失調症患者の看護学生に対する自己開示のプロセスと自己開示に関係した看護学生の関わり

○菅井 菜那¹⁾, 小林 雅美²⁾, 小宮 浩美²⁾
1) 船橋市立医療センター, 2) 千葉県立保健医療大学 健康科学部 看護学科

P-25 精神科看護領域における「寄り添う」看護実践に関する文献検討

○新井 守¹⁾, 寺岡征太郎²⁾

- 1) 帝京大学大学院 医療技術学研究科 看護学専攻 博士前期課程,
2) 帝京大学 医療技術学部 看護学科

P-26 日本における統合失調症患者のセルフスティグマの関連要因についての文献検討

○瓜崎 貴雄¹⁾, 伊波 良剛¹⁾, 星 敬子¹⁾, 望月 花²⁾, 渡慶次智子¹⁾

- 1) 沖縄県立看護大学, 2) 沖縄県立看護大学大学院 保健看護学研究科

P-27 中小規模病院に勤務する看護師の成人愛着スタイルとストレス反応との関連

○西森 直美, 上田 智之

- 九州看護福祉大学 看護福祉学部 看護学科

P-28 カナダ バンクーバーにおける薬物依存症者に対するハームリダクションの報告

○川端 明雄

- 関西医療大学 保健看護学部 保健看護学科

P-29 看護師の共感疲労:質的研究のスコopingレビュー

○森田 歩¹⁾, 千葉 理恵²⁾

- 1) 慶應義塾大学病院, 2) 京都大学大学院医学研究科精神保健看護学分野

P-30 精神疾患を抱えた方の居場所感に関する文献検討

○西海 亮太

- 医療法人樹光会 大村病院

P-31 【実践報告】オンラインコミュニティをケアする『心の保健室』の実践—安心を生むメンタルヘルスリテラシーの活用—

○坂本 岳之

- メディカルBECS

P-32 精神障がいピアサポーターと専門職者が共同創造する地域移行支援モデルの構築(第二報)

○田村 達弥¹⁾, 藤澤 希美²⁾

- 1) 福島県立医科大学 看護学部, 2) 横浜市立大学 医学部 看護学科

日本精神保健看護学会学術集会 企画一覧

	テーマ	会 期	場 所
第1回	いま、なぜ精神看護学なのか	1991.7.6～7.7	日本赤十字看護大学
第2回	精神看護の未来と現実	1992.7.4～7.5	日本赤十字看護大学
第3回	精神看護とチーム医療	1993.7.3～7.4	日本赤十字看護大学
第4回	精神看護と患者の意思決定	1994.7.2～7.3	日本赤十字看護大学
第5回	精神看護の専門性を問う	1995.7.1～7.2	北里大学看護学部
第6回	続・精神科看護の専門性を問う	1996.7.6～7.7	北里大学看護学部 (統括責任：池田 明子)
第7回	精神看護領域における臨床教育 ー基礎教育から卒後教育への継続性ー	1997.7.5～7.6	聖路加看護大学 (統括責任：池田 明子)
第8回	急性期ケアのジレンマ ー人権の保障と最小限の拘束ー	1998.6.6～6.7	聖路加看護大学 (企画委員長：羽山 由美子)
第9回	精神科長期在院患者の看護ケアへの チャレンジと資源開発	1999.5.29～5.30	聖路加看護大学 (企画委員長：羽山 由美子)
第10回	看護理論とその精神科実践への適応	2000.6.3～6.4	福島県立医科大学看護学部 (企画委員長：中山 洋子)
第11回	リエゾン精神看護 ーその学的基盤と実践ー	2001.6.2～6.3	東京女子医科大学 (大会長：田中 美恵子)
第12回	精神病院文化と看護者のかかわり	2002.6.1～6.2	日本赤十字広島看護大学 (大会長：柴田 恭亮)
第13回	精神科看護の経験	2003.5.31～6.1	都市センターホテル (日本赤十字看護大学) (大会長：武井 麻子)
第14回	精神看護の近未来 ー二極化現象を越えてー	2004.6.12～6.13	朱鷺メッセ (新潟青陵大学) (大会長：藤野 ヤヨイ)
第15回	変容する精神保健問題への看護職の チャレンジ ー医療・司法・看護の重なりのかかでー	2005.6.4～6.5	北海道立道民活動センター (かでの 2・7) (大会長：阿保 順子)
第16回	変貌する精神保健看護のゆくえ ー病院と地域ケアの重なりとすき間ー	2006.6.17～6.18	栃木県 自治医科大学看護学会および地域医療情報センター (大会長：永井 優子)
第17回	いま、改めて精神看護を考える	2007.6.9～6.10	神奈川県 北里大学L3号館 (大会長：出口 禎子)
第18回	精神看護における倫理 臨床倫理と 権利擁護	2008.6.21～6.22	東京女子医科大学 (大会長：田中 美恵子)
第19回	精神看護実践における看護師の 役割拡大	2009.6.20～6.21	慶應義塾大学看護医療学部 (大会長：野末 聖香)
第20回	精神看護のアウトカム ー測れるもの・測れないものー	2010.6.19～6.20	東京都 聖路加看護大学 (大会長：萱間 真美)
第21回	精神看護の先進的実践を求めて	2011.6.18～6.19	愛知県産業労働センター (名古屋駅前：ウインクあいち) (大会長：岩瀬 信夫)
第22回	根拠に基づく精神看護の実践 ー患者・家族の体験及び研究を統合 した先駆的看護実践ー	2012.6.23～6.24	市民会館崇城大学ホール (熊本市市民会館) 熊本市国際交流会館 (ワークショップと演題発表) (大会長：宇佐美 しおり)
第23回	精神看護の原点ー叡智の伝承ー	2013.6.15～6.16	京都テルサ (大会長：北島 謙吾)
第24回	嗜癖を知って看護に活かす ー精神保健看護とアディクション問題	2014.6.21～6.22	横浜市立大学 金沢八景キャンパス (大会長：松下 年子)
第25回	新たな精神保健看護の開発を求めて	2015.6.27～6.28	つくば国際会議場 (大会長：森 千鶴)

	テーマ	会 期	場 所	企 画
第26回	こころと身体と社会を紡ぐ 精神保健看護	2016. 7.2～7.3	びわ湖ホール・ ピアザ淡海 (大会長代行： 田上 美千佳)	理事会企画：論文投稿時の研究者ルール 岡田 佳詠（筑波大学大学院） 基 調 講 演：災害からの復興と心のケア ー新たなパラダイムの予知 南 裕子（高知県立大学） シンポジウム：こころと身体と社会を紡ぐ看護の 今とこれから
第27回	“語り”の後の 精神保健看護を語り合う ～試される未来へ向けて～	2017. 6.24～6.25	札幌市教育文化会館 (大会長：吉野 淳一)	大会長講演：語りの後の精神保健看護を語り合う ～私のナラティブ・ターン～ 吉野 淳一（札幌医科大学） 教 育 講 演：精神科看護は当事者の言葉からはじ まる ーストレスモデル・質的研究に おける当事者の言葉のチカラ 萱間 真美（聖路加国際大学） 対話シンポジウム：語り合う当事者・看護者 ～試される未来へ向けて～
第28回	共生社会をひらく 精神保健看護の力 ー語る力 受ける力 つくる力ー	2018. 6.23～6.24	国立看護大学校 (学術集會会長： 森 真喜子)	会 長 講 演：共生社会をひらく精神保健看護の可 能性 森真 喜子（国立看護大学校） 特 別 講 演：精神医療従事者と利用者との関係性 の再考 ーアウトリーチサービス、共同意思 決定の実践などからの考察ー 伊藤 順一郎 (メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ) 教 育 講 演：浜松市でのNPO法人E-JAN、20年 の取り組み 一問と解の螺旋から共生社会を考える 大場 義貴 (聖隷クリストファー大学社会福祉 学部・認定NPO法人遠州精神保健 福祉をすすめる市民の会(E-JAN))
第29回	当事者・家族・支援者を結び 精神保健看護の理論と実践 ～私たちは声をきけている か？～	2019. 6.8～6.9	ウイंकあいち (学術集會会長： 香月 富士日)	会 長 講 演：家族ケアの実践とエビデンス 香月 富士日（名古屋市立大学） 特 別 講 演：精神疾患をもつ人を支える包括的ケア 大島 巖 (日本社会事業大学・地域精神保健 福祉機構COMHBO) シンポジウム：リカバリーを目指す支援 ～家族ケアの重要性～
第30回	地域移行支援の哲学 ～政策と実践への具現化 (embodiment) ～	2020. 6.13～6.14	WEB開催 (学術集會会長： 白石 裕子)	会 長 講 演：地域移行支援の哲学 ー政策と実践への具現化 (embodiment) ー 白石 裕子 (国際医療福祉大学福岡看護学部) 教 育 講 演：①伴走型支援と問題解決型支援 ー看護はハイブリッドモデルで 萱間 真美（聖路加国際大学） ②自尊心回復グループセラピーにみる リカバリー 國方 弘子（香川県立保健医療大学） ③『ベネフィット・ファインディング』 ー概念をどのように看護に生かせるか 千葉 理恵（神戸大学大学院） ④精神看護における認知行動療法を再 考する： 看護師でもできること、看護師だか らできること 吉永 尚紀（宮崎大学）

	テーマ	会 期	場 所	企 画
第31回	精神保健の時代をひらく 共創造	2021. 6.5～6.6	オンラインによる ライブ配信 (配信会場： 山形テルサ) (学術集会会長： 安保 寛明)	会 長 講 演：精神保健の時代をひらく共創造 演者 安保 寛明 (山形県立保健医療大学) 座長 萱間 真美(聖路加国際大学)
第32回	精神保健における 精神看護の責務 ～Withコロナの中での チャレンジ～	2022. 6.4～6.5	武蔵野大学有明 キャンパス (ライブ配信会場) (学術集会会長： 荻野 雅)	会 長 講 演：精神保健における精神看護の責務 —Withコロナの中でのチャレンジ 演者 荻野 雅 (武蔵野大学) 座長 安保 寛明 (山形県立保健医療大学)
第33回	精神保健看護がめざす多様 性と包摂性の実現に向けて	2023. 5.13～5.14	神戸国際会議場 (学術集会会長： 船越 明子)	会 長 講 演：精神保健看護が目指す多様性と包摂性 ～生きづらさを抱える人たちに何が できるか～ 演者 船越 明子 (神戸市看護大学看護学部) 座長 萱間 真美(国立看護大学校)
第34回	共に考え、創り、積み上げる	2024. 6.1～6.2	国際医療福祉大学 成田キャンパス (学術集会会長： 岡田 佳詠)	会長講演：共に考え、創り、積み上げる 演者 岡田 佳詠 (国際医療福祉大学) 座長 寺岡 征太郎 (帝京大学)

一般社団法人日本精神保健看護学会 第6期役員

(任期：2023年5月12日～2025年定時代議員会終了)

理 事 長 (代表理事)	寺岡征太郎	帝京大学
副理事長 (代表理事)	萱間 真美	国立看護大学校
理 事	遠藤 淑美	鳥取看護大学
	大川 貴子	福島県立医科大学
	岡田 佳詠	国際医療福祉大学
	香月富士日	名古屋市立大学
	玉木 敦子	神戸女子大学
	千葉 理恵	京都大学
	野末 聖香	慶應義塾大学
	長谷川雅美	富山福祉短期大学
	畠山 卓也	高知県立大学
	濱田 由紀	東京女子医科大学
	松田 光信	大阪公立大学
指名理事	桐山啓一郎	名古屋市立大学
	中戸川早苗	北里大学
監 事	多喜田恵子	岐阜保健大学

一般社団法人日本精神保健看護学会 第4期代議員

(任期：2023年5月12日～2025年定時代議員会終了)

相澤 和美	一般社団法人ROOT 訪問看護ステーションLeaf
畦地 博子	高知県立大学
安保 寛明	山形県立保健医療大学
石川かおり	岐阜県立看護大学
石橋 照子	島根県立大学
岩切真砂子	公益財団法人慈圭会 慈圭病院
岩瀬 貴子	活水女子大学
上野 恭子	順天堂大学
遠藤 淑美	鳥取看護大学
大川 貴子	福島県立医科大学
岡田 佳詠	国際医療福祉大学
片岡 三佳	三重大学
香月富士日	名古屋市立大学
萱間 真美	国立看護大学校
小山 達也	聖路加国際大学
澤田いづみ	札幌医科大学
柴田 真紀	北里大学
下里 誠二	信州大学
白石 裕子	令和健康科学大学
末安 民生	佛教大学
田井 雅子	高知県立大学
寶田 穂	武庫川女子大学
多喜田恵子	岐阜保健大学
武井 麻子	Office-Asako
田中 浩二	金沢大学
玉木 敦子	神戸女子大学
千葉 理恵	京都大学
辻脇 邦彦	東都大学
土田 幸子	鈴鹿医療科学大学
寺岡征太郎	帝京大学
永井 優子	自治医科大学
野末 聖香	慶應義塾大学
長谷川雅美	富山福祉短期大学
畠山 卓也	高知県立大学
濱田 由紀	東京女子医科大学
福嶋 好重	横浜市立市民病院
福田 紀子	慶應義塾大学
藤野 成美	佐賀大学
武用 百子	大阪大学
松枝美智子	星槎大学
松田 光信	大阪公立大学
松本 賢哉	京都橘大学
三木 明子	関西医科大学
宮本 真巳	
宮本 有紀	東京大学
森 千鶴	東京医療学院大学
八木こずえ	北海道医療大学
山田 浩雅	愛知県立大学
吉永 尚紀	宮崎大学

日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会 企画委員・実行委員・事務局

会 長 田中 浩二（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

副会長 堤 敦朗（WHO西太平洋地域事務局/金沢大学融合研究域融合科学系）

事務局 長 長田 恭子 金沢大学医薬保健研究域保健学系

企画委員長 長山 豊 金沢医科大学看護学部

企画委員	安達 寛人	富山大学附属病院	千葉 理恵	京都大学
	大江 真人	金沢医科大学	中村ゆきえ	金沢大学附属病院
	川口めぐみ	福井大学	坂東紀代美	富山福祉短期大学
	小島 瞳	社会医療法人財団松原愛育会 松原病院	松本 賢哉	京都橘大学
	近田真美子	大阪成蹊大学	山口 達也	福井県立病院こころの医療センター
	竹内 陽子	岐阜聖徳学園大学		

相談役 長谷川雅美 富山福祉短期大学

実行委員	秋岡 悠	株式会社たねや CLUB HARIE	瀧 めぐみ	金沢医科大学病院
	足立 円香	岐阜県立看護大学	竹内 雅結	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
	新井 里美	金沢医科大学	竹橋 智子	国立病院機構金沢医療センター
	池内 里美	三重大学	田本怜和那	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
	井上 智晴	石川県立こころの病院	寺井 彩	厚生連高岡病院
	大江 真吾	石川県立看護大学	寺口 由紀	金沢医科大学
	太田 良子	金沢大学医薬保健研究域保健学系	中島千英子	梅花女子大学
	鬼束 和樹	石川県立こころの病院	萩原 周子	金沢大学附属病院
	帰山 雅宏	福井県立病院	畠 稔	金沢大学附属病院
	片山 美穂	公立小松大学	林 一輝	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
	川添 佑莉	株式会社くらしケア	東 翔太	金沢医科大学大学院
	川村 晃右	京都橘大学	平井 孝治	福井大学
	葛谷 玲子	岐阜県立看護大学	更田新太郎	京都橘大学
	小島ひとみ	岐阜聖徳学園大学	松井芽衣子	大阪成蹊大学
	小畠 拓治	国保野上厚生総合病院	三浦奈緒子	メンタルサポート福井
	近藤やよい	福井医療大学	森野 啓	金沢大学附属病院
	境 美砂子	金城大学	山口 千夏	金沢医科大学
	笹井 啓生	京都橘大学	吉田真寿美	金沢医科大学病院
	塩谷 咲希	金沢医科大学病院	若林 円花	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
	高橋 建司	大阪青山大学	和田 貴子	岐阜聖徳学園大学
	十倉 絵美	京都橘大学		

運営協力スタッフ

大桑麻由美	金沢大学医薬保健研究域保健学系	岡本 理恵	金沢大学医薬保健研究域保健学系
表 志津子	金沢大学医薬保健研究域保健学系	北川 麻衣	金沢大学医薬保健研究域保健学系
周 英	金沢大学医薬保健研究域保健学系研究員	新谷 圭市	ウィル訪問看護ステーション金沢
宮下 和彦	社会医療法人財団松原愛育会松原病院	小倉 颯斗	らいず訪問看護ステーション
前多 志希	社会医療法人財団松原愛育会松原病院	矢野 芳美	大阪成蹊大学看護学部
大嶋 舞香	金沢医科大学		

学生ボランティア

石川 里奈	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	杉本 彩華	金沢大学医薬保健学域保健学類
牛山 樹里	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	徳嵩 怜美	金沢大学医薬保健学域保健学類
小原 夢美	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	萩原 凜	金沢大学医薬保健学域保健学類
鈴木 芽依	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	広瀬 僚太	金沢大学医薬保健学域保健学類
藤村 楓	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	福岡 美佑	金沢大学医薬保健学域保健学類
本田 仁美	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	室谷 実玲	金沢大学医薬保健学域保健学類
吉田詩衣菜	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	柳澤 真衣	金沢大学医薬保健学域保健学類
吉田 莉彩	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	山浦 杏	金沢大学医薬保健学域保健学類
吉田 百合	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	山田真悠子	金沢大学医薬保健学域保健学類
浦 礼香	金沢大学医薬保健学域保健学類	山本 紘乃	金沢大学医薬保健学域保健学類
太田 優樹	金沢大学医薬保健学域保健学類	田之尻らら	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
岡崎 理央	金沢大学医薬保健学域保健学類	余 詩華	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
勝部 美慧	金沢大学医薬保健学域保健学類	加藤 遥香	三重大学大学院医学系研究科看護学専攻
清田彩由里	金沢大学医薬保健学域保健学類	杉原 初奈	金沢大学医薬保健学域保健学類
佐藤 桂	金沢大学医薬保健学域保健学類		

日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会 協賛企業・団体一覧

ランチョンセミナー共催

住友ファーマ株式会社	ニプロ株式会社
トキノ株式会社	訪問看護ステーションみのり

広告掲載

株式会社eWell	丸善雄松堂株式会社
株式会社医学書院	

企業展示

株式会社メルシー	株式会社CareMaker
株式会社永和システムマネジメント	株式会社eWell
株式会社エラン	株式会社エピグノ
株式会社ケアコム	東洋羽毛北信越販売株式会社
株式会社ヤマト	

寄付

株式会社Radix	訪問看護ステーションFLOS	医療法人社団浅野川	桜ヶ丘病院	
医療法人社団	青樹会	青和病院	医療法人明仁会	かないわ病院

協力

株式会社れん らいず訪問看護ステーション

2025年4月30日現在
(順不同)

日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会の運営にあたり、上記企業・団体の皆様より多大なるご支援を受け賜りました、謹んで御礼申し上げます。

日本精神保健看護学会第35回学術集会・総会
会長 田中 浩二（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

雑誌

精神看護のご案内

「地域」へ向けて、本格的な変革期に入る精神科領域。大きな時代の流れも見据えつつ、自分の仕事も楽しんでいきましょう。この雑誌にはワクワク情報がいっぱいです。

◆隔月刊(奇数月)、年6冊 定価:1,650円(税込)

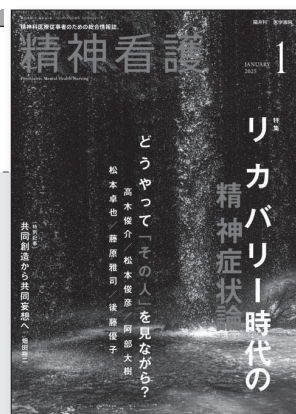
年間購読なら送料無料!

電子 8,910円(本体8,100円+税10%)

冊子 9,900円(本体9,000円+税10%)

冊子+電子 13,200円(本体12,000円+税10%)

詳しくは
こちら



常識は後からやってくる!

シリーズ ケアをひらく
むかいやち

向谷地さん、幻覚妄想ってどうやって聞いたらいいんですか?

向谷地 生良

●A5 2025年 頁296 定価:2,200円(本体2,000円+税10%) [ISBN978-4-260-06153-7]

詳しくは
こちら



自傷に関する最高の教科書。現在の精神科医療に不足している視点を教えてくれる。

シリーズ ケアをひらく

傷の声 絡まった糸をほどこうとした人の物語

齋藤塔子

●A5 2024年 頁312 定価:2,200円(本体2,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05782-0]

詳しくは
こちら



「ゼロ」からはじめるオープンダイアログ!

イルカと否定神学

対話ごときでなぜ回復が起こるのか

斎藤環

●A5 2024年 頁288 定価:2,200円(本体2,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05735-6]

詳しくは
こちら



現場の「困った」「わからない」を経験豊かなエキスパートたちが真摯に解説

発達障害 Q&A

臨床の疑問に答える104問

編集 金生由紀子/編集協力 今村明・辻井農亜

●B5 2024年 頁368 定価:6,600円(本体6,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05436-2]

詳しくは
こちら



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

「知りたい、学びたい」と願う 全ての人のために、 まなびのつながりを育む

丸善雄松堂は、
地域や社会に広がる「まなびのつながり」を育み、
人びとの持続的なまなびを促進する
環境づくりをご支援します。

丸善雄松堂株式会社 金沢支社

〒920-0901

石川県金沢市彦三町2-1-10 真和ビル

TEL:076-231-3155 FAX:076-231-3299



M MARUZEN-YUSHODO

<https://yushodo.maruzen.co.jp>



